魅力を作り出すレフェリー



（財）日本ハンドボール協会 審判委員会 委員長　島田 房二

「中東の笛」と騒がれた大騒ぎも一段落となりましたが、連日テレビに流され、満員の観衆の中で放送された北京オリンピック予選再試合を見た多くの人たちから「ハンドボールって面白いね」「スピード感があって凄い競技だね」と言うような言葉を数多く聞かされました。この魅力を作り出すのがレフェリーの大切な任務であることを痛感しています。

日本語では審判として統一されてしまいますが、アンパイア・ジャッジ・レフェリーのように、考え方の違いから英語では使い分けられています。これはスポーツの歴史から考えなくてはなりませんが、一般的にはレフェリーと呼ばれる種類のスポーツは、事実判定に関しての抗議は認められていません。何故ならばレフェリーは判定することが一番の目的ではなく、調停者、仲裁人、決定を委ねられた人、であるという意味合いが強いからです。この考えを基にして「平成20年度の審判員の目標」に「防御側プレーヤーの権利の保障」と「アドバンテージ・ルールの遵守」をあげています。私自身、ハンドボールの面白さを問われたとき「反則されて体勢の悪い状態からでも何とかボールを繋いで、得点に繋げようとしているプレー」と答えます。しかし、多くの試合でディフェンスが正常の防御行為をしている状態で、攻撃側の判断ミスで無理に入り込もうとして動きが止まると、ディフェンスの違反と判定されることが多いように思っています。再試合を直接観戦しましたが、IHFから派遣されたレフェリーは試合開始直後から基準をはっきり示し、最終場面で退場を出さないように試合を運営し、上記二つの課題を無難にこなし、ハンドボールの面白さを十分に引き出してくれたと感じました。

4月初旬に行われた熊本での東アジアクラブ選手権に合わせ、隔年開催されている都道府県審判長会議では、審判審査指導委員会が使用している指導内容の解説資料を配布しました。この中には今年度の審判員の目標も含まれています。各都道府県でも、審判審査指導委員会を指導者として開催される講習会と同じ内容が使われるように準備してあります。レフェリーだけでなくトレーナーサイドをも含めたルール講習会の開催を期待いたします。

【平成20年度 審判員の目標：審判員の課題】

1．防御側プレーヤーの権利の保障（競技規則8：1）

①防御側プレーヤーが相手の進路を身体で阻む行為は許されている。

②どのような方向からでも、相手からボールを得るために、開いた片手を使うことは許されている。

③正しい防御動作をしているプレーヤー陣の中に攻撃側プレーヤーが入り込むプレーにおいて、不用意に防御側の違反としない（プレーの評価）。

2．アドバンテージ・ルール（競技規則13：2、14：2）の遵守

①アドバンテージはハンドボールの醍醐味である。競技レベルによる差異はあるが、「競技を早まって中断しないように」という条文の言葉を忘れない。

②攻撃側チームの違反の直後に防御側チームがボールを所持した場合も同様である。

③危険なプレーに対する罰則を忘れてはいけない。

3．レフェリーの動きと位置取り

①試合展開が速くなり、防御隊形も大きく変化している。絶えず任務の分担を確認しあうこと。

②レフェリーはボールに対してだけでなく、その周辺や全体の事象にも注意を払う。

③両レフェリーは、ジェスチャーなどでプレーヤーとコンタクトを取ることにより、プレーヤーを観察していることを知らせる。

④ゴールレフェリーの観察位置は、ゴールポストに近すぎてはならない。ゴールレフェリーも最良の視野を得るための位置を求めて移動しなければならない。

⑤両レフェリーは得点後に移動する際も、プレーヤーとボールから目を離してはならない。

速報

北京オリンピックIHF世界最終予選（男子）

日本、3グループ3位 北京オリンピック出場権、獲得ならず

クロアチア 37（19-11, 18-11）22 日 本 ［第1日：5月30日（金）］

【戦評】北京オリンピック出場権をかけた最後のチャレンジ。8,000人収容の体育館は地元クロアチアの応援で満員状態。コート内でお互いの声が聞こえないくらいの歓声の中、クロアチアのスローオフでゲームスタート。

序盤はお互いDFの状態を探りながら、日本は宮崎、クロアチアはポストを使った攻撃で5分まで3対3、日本は速い展開でボールを運ぼうとするが細かいミスが出始める。このミスを確実に加点され、じりじりとリードを広げられる。武田や宮崎のミドルで追い上げを図るが、日本DF陣の中で制空権を発揮する相手に上手くポストやサイドへボールをつながれ前半を11対19で終える。

後半に疲れの出てくる相手に対して速攻をたたみかけたい日本であるが、シュートまで結びつかない。流れを変えようと岸川、海道を投入するが、逆にミスから連続で失点してしまう。終始ペースをつかめないまま22対37でタイムアップ。世界トップのチームを追いつめることは出来なかったが、明日のアルジェリア戦で王手を狙う。

［得点者］宮崎7，末松・門山3，豊田・富田・武田・永島2，高智1

日 本 38（20-14, 18-13）27 アルジェリア ［第2日：5月31日（土）］

【戦評】第2戦はオリンピック出場に王手をかけるためには負けられない相手。試合開始、日本のミスに乗じてアルジェリアが先制点を取るが、古家が意地で取り返すと、お互いに7mスローで追加点をあげる。10分辺りからエンジンがかかり始め、速攻や力強い突破でアルジェリアDFをこじ開けていく。15分過ぎには11対6と5点リードするが、アルジェリアも負けじとクイックスタートでうまくファウルを誘って7mスローで追い上げる。その後、GK松村のセーブから豊田の速攻が続き、再び5点差となり、前半残り1秒、高智のミドルシュートが決まり、20対14でハーフタイムを迎えた。

後半立ち上がり、キャプテン永島のポストシュート連続得点で一気にペースをアップする。15分過ぎには30対16と完全に試合を決定つける。残り時間、退場者が出て連続失点する場面もあったが、38対27で勝利し、オリンピックに王手をかけた。

［得点者］末松8，豊田・高智6，宮崎4，永島・岸川・古家・門山3，富田・猪妻1

ロシア 44（19-13, 25-18）31 日 本 ［第3日：6月1日（日）］

【戦評】1勝1敗でむかえたロシアとの最終戦、日本はスタートから積極的に走り、仕掛けていく。開始1分、富田のポストシュートで先取点。すぐに高智が続いて2連取と幸先良く滑り出す。ロシアも5分過ぎから世界屈指の高さを使った攻撃で反撃開始。10分までは互角に渡り合うが、ロシアに退場が出た後にリズムを崩し5連続失点してしまう。その後も、ポストの高さを活かしてボールを集める展開を守りきれず、13対19で前半を終える。

後半走りでなんとか挽回したいところだが、要所でポストへのパスを通されてしまう。それでも、末松や富田の速攻でくいさがるが、今まで確率の悪かったロシアのバックプレーヤー陣のロングシュートが唸りを上げて日本ゴールへ突き刺さる。大事な場面で連続得点をしてくるロシアがじりじりと、点差を広げていく。最後まで全員で走り回った日本であるが、31対44で敗退、オリンピック出場権を獲得する事は出来なかった。

［得点者］豊田7，末松・富田・古家4，宮崎3，永島・岸川・高智2，武田・猪妻・門山1

北京オリンピック IHF 世界最終予選（男子） 試合結果

◆第1日（5月30日（金））

<1グループ>

アイスランド 36（19-13, 17-14）27 アルゼンチン

ポーランド 22（10-10, 12-12）22 スウェーデン

<2グループ>

フランス 34（15- 8, 19-17）25 チュニジア

スペイン 33（18-17, 15-14）31 ノルウェー

<3グループ>

ロシア 39（19- 5, 20- 7）12 アルジェリア

クロアチア 37（19-11, 18-11）22 日本

◆第2日（5月31日（土））

<1グループ>

スウェーデン 33（17- 7, 16-14）21 アルゼンチン

ポーランド 34（15-12, 19-16）28 アイスランド

<2グループ>

フランス 28（16-13, 12-11）24 スペイン

チュニジア 30（18-17, 12-13）30 ノルウェー

<3グループ>

日本 38（20-14, 18-13）27 アルジェリア

クロアチア 26（15-12, 11-12）24 ロシア

◆第3日（6月1日（日））

<1グループ>

アイスランド 29（13-13, 16-12）25 スウェーデン

ポーランド 28（13-11, 15-15）26 アルゼンチン

<2グループ>

スペイン 29（16-14, 13-14）28 チュニジア

フランス 28（13-15, 15- 8）23 ノルウェー

<3グループ>

ロシア 44（19-13, 25-18）31 日本

＊日本、3グループ3位。北京オリンピック出場権、獲得ならず。

クロアチア 37（14-13, 23-13）26 アルジェリア

北京オリンピック IHF 世界最終予選（男子） 選手名簿

役職	名前	所属
協会役員	市原 則之	（財）日本ハンドボール協会
団長	蒲生 晴明	（財）日本ハンドボール協会
監督	酒巻 清治	（財）日本ハンドボール協会
コーチ	中山 剛	（財）日本ハンドボール協会
ドクター	有田 忍	小波瀬病院整形外科
トレーナー	赤尾 和彦	トレーナーズフォーアスリート
分析	舎利弗 学	福島高等学校

<大会エントリーメンバー>

背番号		名前	所属	最終出身校
12	GK	坪根 敏宏	湧永製薬	福岡大学
16	GK	松村 昌幸	湧永製薬	福岡大学
19	CP	猪妻 正活	大崎電気	早稲田大学
9	CP	永島 英明	大崎電気	大阪体育大学
17	CP	古家 雅之	湧永製薬	筑波大学
2	CP	豊田 賢治	大崎電気	国士舘大学
7	CP	宮﨑 大輔	大崎電気	日本体育大学
5	CP	末松 誠	大同特殊鋼	国士舘大学
8	CP	武田 享	大同特殊鋼	国士舘大学
6	CP	富田 恭介	大同特殊鋼	中部大学
10	CP	海道 衛秀	トヨタ紡織九州	筑波大学
13	CP	岸川 英誉	大同特殊鋼	早稲田大学
20	CP	門山 哲也	トヨタ車体	日本大学
18	CP	高智 海吏	トヨタ車体	大阪体育大学

<補欠選手>

背番号		名前	所属	最終出身校
21	GK	四方 篤	Honda	大阪体育大学
23	CP	東長濱 秀作	湧永製薬	日本体育大学
14	CP	武藤 剛	湧永製薬	日本体育大学

北京オリンピック IHF 世界最終順位

<1グループ>
1位 ポーランド
2位 アイスランド
3位 スウェーデン
4位 アルゼンチン

＊ポーランド、アイスランドが北京オリンピック出場権獲得

<2グループ>
1位 フランス
2位 スペイン
3位 ノルウェー
4位 チュニジア

＊フランス、スペインが北京オリンピック出場権獲得

<3グループ>
1位 クロアチア
2位 ロシア
3位 日本
4位 アルジェリア

＊クロアチア、ロシアが北京オリンピック出場権獲得

「国際化」への改革

（社）共同通信社　田村崇仁



「中東の笛」と呼ばれる疑惑判定に端を発し、ハンドボールの北京五輪アジア予選が異例のやり直しとなった騒動から5カ月余り。曲折を経た道のりで日本は男女とも北京五輪の出場権を逃し、アジア最強の韓国と世界の壁を痛感させられる厳しい結果に終わった。

▽世界を知る必要

北京五輪男子世界最終予選（5月30日―6月1日・ザダル＝クロアチア）で日本が挑んだアテネ五輪金メダルのクロアチアは司令塔バリッチが異次元のシュートテクニックを披露し、銅メダルのロシアは2メートル級の巨漢がゴール前に居並んだ。こうした真剣勝負の国際舞台は4大会ぶりに出場した2005年の世界選手権（チュニジア）以来。「世界に勝つためには世界を知らないと。もっと（海外に）出て行かなければ駄目だと思う」。競技の「メジャー化」を訴え、20年ぶりの夢に懸けたエース宮崎大輔（大崎電気）が危機感をにじませたのも当然だろう。

試合序盤は強国相手にも3―2―1の守備戦術が機能し、互角に対抗できた。だが攻撃のミスから速攻を浴びて失点を重ねると、流れを止められなくなる。主将の永島英明（大崎電気）は屈強な世界のポストを「岩みたいな感覚」と表現。ボディービルダーを特別コーチに招き、チーム全体で体格差を埋める筋力強化に着手したが、予想以上の圧力にもミスを誘発させられ、日本が本来仕掛けたかった速攻を逆にやられる悪循環に陥った。

3年前の世界選手権で1次リーグ敗退に終わった松井幸嗣監督が「驚いたことに世界は大きくて速く、そしてパワーでも進化していた」と総括したのを思い起こす。「機動力と技術だけでは簡単に通用しない」と。昨年12月に就任した酒巻清治監督の下で「チーム力は確実にアップしている」（蒲生晴明・日本協会強化本部長）。ただ世界もさらに進化していた。

▽失われた10年

1997年に熊本で開催された世界選手権で日本は世界にぐっと近づいた。スウェーデンから招かれたオレ・オルソン元監督が「高さは無理でも重さを」と1日6回の食事を選手に課し、平均体重が10キロ近くアップ。「ハンドボール・チェス」と称した攻守の展開を読むプレーの必要性を説き、欧州の強豪国と渡り合うパワーと戦術を浸透させた。今さらながら、あの「遺産」をもう少し継承できればと「失われた10年」を嘆く声も聞く。

全国規模で一躍脚光を浴び、千載一遇のチャンスだった1月の北京五輪再予選（東京・国立代々木競技場）で日本は韓国との一騎打ちに敗れた。男子は3点差、女子は13点差。2月の男子アジア選手権（イラン）では「中東の笛」を問題視した国際ハンドボール連盟（IHF）が審判員を派遣した中で過去最低の7位に沈んだ。宮崎らプロ契約選手もいる一方、国内リーグでは実業団チームの枠組みで戦っている現実からなのか時に勝負へのもろさが顔を出す。

苦戦する日本の男子団体球技で北京切符を得たサッカー、野球などに共通するのはプロリーグの存在だ。世界最終予選で活躍した新鋭の高智海吏（トヨタ車体）はロシア選手をなぎ倒す強さを見せた一方「日本リーグで通用しても、ここでは通用しないプレーがたくさんあった」と痛感した。日本協会は2000年から韓国に倣ったナショナルトレーニングシステム（NTS）を新設し、若年層から代表までの一貫指導システムを確立。国内リーグのプロ化が実現しない以上、この基盤を土台にして国内リーグを通じた強化だけでなく、男女とも代表チームが欧州の強豪国と国際試合を経験する場をもっと増やしていかないと世界から取り残されてしまう。

▽ロンドンで切符を

世界最終予選後、かつてオルソン元監督の下でコーチ経験もある酒巻監督は長期強化策の一環として「選手を欧州に放り込んでやりたい」と切実な思いを訴え、選手の受け皿を探すためデンマークとスウェーデンへ旅立った。チーム単位でも、個人の武者修行でも一流選手と同じコートに立って学ぶことが重要だ。

女子は3月の世界最終予選でポーランドに勝ったが、ルーマニア、ハンガリーの牙城を崩せなかった。序盤は善戦しても後半持ちこたえられず、力負けする展開は男子と同じ。それでもドイツやスペインで武者修行する「海外組」も多く、課題とされる選手個々のレベルアップが実を結ぶときが来ると期待したい。韓国が五輪でメダルに絡める競技なのだから、強化の方法で可能性は無限に広がってくるだろう。

「中東の笛」をめぐる問題はアジアでまだ火種がくすぶり続ける。だが日韓の共同戦線を張った抗議から始まった「狂騒曲」がハンドボール界に一石を投じたのは間違いない。そして世界の壁にはね返された日本にどんな教訓が残ったのか。

韓国は白元喆（大同特殊鋼）のようなゲームを熟知し、審判までコントロールしてしまう大黒柱の存在が大きい。「大砲不在」を指摘される日本代表も主力が海外に飛び出し、日常的に厳しいプレッシャーの中で個々の能力を上げないと、五輪の扉は開かれない。26歳のエース宮崎を中心にした世代が集大成を迎え、女子も国内組と海外組が融合する2012年ロンドン五輪へ。日本は「国際化」に目を向けた改革に迫られている。

第3回 平成19年度 春の全国中学生ハンドボール選手権大会





大会を振り返って

氷見市実行委員会事務局次長　伊勢 利弘

3月25日、春の訪れとともに各都道府県の代表が氷見市に集い、第3回春の全国中学生ハンドボール選手権大会が開催されました。今年は昨年より1チーム増で、男女合わせて93チームが参加しました。全都道府県と開催地の計96チームができるだけ早く参加できるように、関係各位のご尽力をお願いしていきたいと思っています。

1月下旬に「北京オリンピックアジア予選」が行われ、宮崎大輔選手等の活躍を通して、ダイナミックでスピーディなハンドボール競技の魅力が全国に発信された影響もあり、この春中ハンドも大会前からマスコミをはじめ、多くの市民や県民の注目を集める大会になりました。

開会式セレモニーでは、氷見市の寒ぶりっ娘による大会歌「輝く、君は」の後、宮崎大輔選手が地元氷見クラブの一般男子のチームに入り、県内チームとの対戦で全国の中学生にすばらしいプレーを披露しました。スカイプレーやフェイントからのバックパス、速攻からの豪快なジャンプシュートなど、絶え間ない歓声に沸きました。セレモニーの最後は北京オリンピックでも演奏する、市内の中高校生で構成したムジカグラート氷見によるウエルカム演奏でした。

第1回大会から市民と一体になった大会を目指して努力していることが認められ、開会式に先立ち、総務省自治財政局審議官の津曲俊英氏から、総務大臣賞が日本ハンドボール協会と氷見市に授与され、感慨深いものがありました。

初出場は男子26チーム、女子20チームの計46チームと多かったが、試合はたいへんスムーズに運営されて、3回目の大会の成果が感じられました。これまで夏の全国大会に出場できなかった県のレベルも年々上がり、1回戦から白熱した試合が展開されました。

3月29日の男子決勝は、共に初出場の明倫中（福井県）と通津中（山口県）とで行われたが、両チームともたいへんスピーディな試合展開で、両チームの合計得点が81点に達し、大会史上例を見ない結果となり、明倫中が初の栄冠を手にしました。

女子決勝は、初出場同士の大蔵中（兵庫県）と光陽中（福井県）との間で行われ、早いパスワークからの一進一退の攻防が続いたが、大蔵中が初優勝に輝きました。地元氷見市も、男子の南部中、女子の北部中が3回目にして初めて3位に入賞して、市民の声援に応える活躍で、大いに盛り上がった大会になりました。

大会全体を振り返ってみると、いたるところで多くの人がよりよい大会を目指して努力していました。審判長の島田房二氏が映像を活用した審判研修を行い、資質向上に努めていました。大会前からの交流試合も計画し、参加チームがずいぶん増え、試合だけでなく心の交流も行われていました。平日にもかかわらず昨年より多くの応援サポーターが、連日声を嗄らして応援し、そのレベルも上がったように感じられました。応援サポーターに対する感謝の礼状が実行委員会にも届き、年間を通した交流もみられるようになりました。県内の中学生も、どうしたらもっと役立てるのかと考えるなど、補助員としての自覚を深めるようになりました。

ハンドボール関係者だけでなく、多くの人に認められ、応援してもらえる大会になりつつある今、大会の成功と地域のいっそうの活性化を目指して、真摯に取り組んでいきたいと思っています。





男子優勝チーム　福井市明倫中学校（福井県）

◆みんなの勝利

福井市明倫中学校ハンドボール部監督　立山 泰伸

この度の我が校の優勝に際しまして、明倫男子ハンド部を支えてくださった保護者の皆様、県のハンドボール協会の皆様、そしてチームの強化にお力を貸してくださった北陸高校の志々場先生、羽水高校の岩元先生、誠にありがとうございました。また、４日間心強い応援をしたくださった久目地区の皆様。皆様方のお力のお陰で全国制覇という快挙を成し遂げることができました。深く感謝しております。

我がチームは創部３年目の若いチームです。隣接の小学校に全国で活躍している木田ブルーロケッツ 2000 が活動しており、その卒業生達の要望により男子ハンド部が創立されました（女子はすでに存在していたのですが）。そのような経緯があったことと、私自身がハンドボール未経験者であったため、地域の指導者の鹿内コーチ（明倫中 OG）や木田ブルーロケッツ 2000 の田中監督（元北陸電力監督）の協力を得たスタッフを構成し、チームの強化に取り組んできました。

今大会はまずは「初戦突破！」を目標に臨んだ大会でした。ベスト８以上の力はあると期待しておりましたが、初めての全国大会ということもあり、初戦を突破して勢いに乗りたいという思いがありました。その中での初戦突破は私の予想通り選手達に大きな自信と勇気を与えてくれました。３日目の東久留米西戦と汐路戦が最大のポイントとにらんでいましたが、選手達はねばり強いディフェンスをしてくれ、チームの信条である「守って速攻」を展開することができました。迎えた決勝戦では地元福井から大応援団がやってきてくれ、選手達は気持ちよく、楽しんでプレーすることができました。

今大会を通して選手達は、ハンドボールは一人ではできないということを学びました。現在部員は 24 人いますが、スタッフを入れた 27 人全員がそれぞれの役目を果たしたからこその勝利だということを確認し合い、そしてその陰にはたくさんの人の支えがあることに感謝しながら、夏の地元開催の全中に向けてさらなる努力を続けていくことをみんなで誓い合いました。

最後になりましたが、素晴らしい本大会を運営してくださいました役員の皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

◆ゴールではなくスタート

福井市明倫中学校ハンドボール部　安藤 祐介

決勝の終了ブザーがなると同時に全国制覇してしまったんだなと改めて感じた。この大会は初出場で最初の目標は「全国制覇」と言っていたけれども、やっぱり本当は、まず一勝だった。しかし一回勝つごとに目標は、だんだんとここまで来たらという思いになった。僕たちが優勝することができたのは、レギュラーだけでなくベンチや観客席で応援してくれていた 24 人、そしてスタッフの先生方全員が一丸となれたからだと思った。

いつも学校の練習ではあまりまとまりがなく、このまま全国に行ったら恥をかくだけだなと思っていた。しかし、この全国大会では違った。試合に出ていなくてもコートに立っている人と同じくらい喜んで、ハーフタイムのときなどもサポートしてくれて本当に助かった。この大会では、そのような周りのサポートが光った。

もちろんコートに立っている７人も必死でがんばってくれた。僕達のプレースタイルである自分達で考えるハンドボールをしっかりと出すことができた。一番苦しかった試合が準決勝。残り８秒での同点ゴールでそこから延長戦で勝つことができた。この時、本当にうれしかった。一人一人が得点を取りにいった決勝では、大差で勝ち、日本一になれてうれしかった。

この大会では、いろいろな課題が見つかった。まず今まで県大会で通用していた速攻が使えなかった。自分達のチームは守ってからのスピーディーなハンドボールだったけれど、全国大会では全然通用しなかった。次は声。会場にはたくさんの人々がいて、いろいろとプレー中の声が聞こえなかったので、もっともっと練習中に話し合おうと思った。

次の夏の大会は追われる立場になるので、基本的な練習をして、しっかりとミスのないようにして春に出し切れなかった力をしっかりと出し切って、春夏の二連覇を達成できるようにがんばりたい。



女子優勝チーム　明石市立大蔵中学校（兵庫県）

◆夢にむかって挑戦

明石市立大蔵中学校ハンドボール部顧問　竹内 きよ子

この度、第3回春の全国中学生ハンドボール選手権に優勝という輝かしい結果を残すことができ、真に有難い気持ちでいっぱいです。氷見での開催は、中学生にはもったいない環境でハンドボールができた事を感謝します。思えば、開会式に不調を訴えたり、ユニフォームを忘れ、ご迷惑をおかけしたりしましたが、毎日美味しいものを食べ、連日第1試合で体のリズムができたようです。

香川第一中戦では、速攻に苦しみながらロングシュートがよく決まり自信になったようです。花園中学戦では、サウスポーのパワフルなシューターとフットワーク力があり、何度も危機がありました。よく乗り切ったと思います。準決勝の氷見北部戦では、地元の大応援団を背に技術的に優れているチームなので、自分達のやってきたことをしようと挑戦しました。氷見北部チームの中心選手が怪我をしていたため、本来の力が発揮されず勝つ事ができました。決勝は、優勝候補の光陽で監督はじめ、体格的にも練習量も優れた素晴らしいチームで、とにかく恥ずかしくない試合をしようと、1点ずつ入るたびに、子どもと喜び合え笑顔でプレーができました。

今回の優勝は、体格にも恵まれず中学から始めている生徒達が、本当によく頑張ってくれました。第1回優勝の阿曽先生、第2回優勝の尾石先生はじめ、素晴らしい指導者の先生方からの励ましが心にしみました。同じ近畿の住吉第一の中村先生、培良中学の森本先生には、特に公私ともお世話になっています。今回の大会前に明石高校にもお世話になり、一緒に練習させていただきました。大蔵中の先輩から引き継がれた伝統も大きな支えでした。現在ソニーセミコンダクタ九州にお世話になっている樋口選手をはじめ、沢山の卒業生からのメールも励みになりました。ここまでこれましたのも、学校関係者、地域の方々、保護者の支援のお陰だと心より感謝申し上げます。氷見のサポーターの熱い応援、スタッフの方々にも、感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有難うございました。（私事ですが、長い間、クラブ指導をさせてもらったのも家族の支えがあったからです。若い頃は、自分の子どもを練習に連れてきたり、母や妹に預けたり、今はそんな長女も龍谷大でハンドのマネージャーをやらせてもらっています。優勝を自分の事のように喜んでくれています。本当に嬉しい限りです。）

◆全国大会を振り返って

明石市立大蔵中学校ハンドボール部主将　大浦 あみ

大蔵中学校ハンドボール部は、春の全国大会で優勝という結果を出すことができました。優勝できるなんて思ってなかったから、とてもビックリしています。私達は入学してからハンドボールを始めました。遠征や練習を積み重ねて迎えた全国大会…。2回戦、3回戦と順調に勝ち進み、迎えた準々決勝は千葉県の花園中学校との対戦でした。左利きの人が3人もいて全く守れず、前半1点差で負けていました。準決勝では目標にしていた富山県の氷見北部中学校との対戦でした。最初からずっとシーソーゲームでした。点数を取られたら取り返す…その繰り返しでした。後半になって速攻でたくさん点を取れて、氷見北部中学校に勝つことができました。まさか勝てると思っていなかったし、その上決勝にいけるなんて夢にも思っていなかったので、全員でとにかく喜び合いました。決勝戦で対戦した福井県の光陽中学校には自分達が見上げるような人ばかりがいました。自分達がそんな人達に勝てるのだろうか？と思いながら戦いました。そんな中、始まってすぐにステップシュートを2本連続で決められました。そこからはムードは大蔵になったようが気がします。光陽中学校もサイドから素晴らしいシュートを決めてくるのですが、自分達の持ち味を出して取り返しました。「私達が勝った…」信じられないことでした。今までにない嬉しさで、みんなで泣いて、抱き合ってこの勝利を喜びました。優勝という結果を出せたのは、応援してくださった方々や保護者の方々、そして厳しく指導してくださった竹内先生のお陰だと思います。

これからは夏の総体に向けて、また一からのスタートだと思って、竹内先生に付いて行き頑張ります。



戦 評

男 子

▼準決勝

通津（山口） 31（15 − 13、16 − 16）29 氷見南部（富山）

前半、通津は堅いディフェンスから 2 番角田のカットイン、5 番重村の速攻など、スピードある攻撃で開始 6 分までに 6 対 1 と点差を広げた。一方氷見南部は、通津のゴールキーパー 1 番宇佐川の好守に苦しんだものの、10 分過ぎから 2 番太田のサイドシュート、3 番岩上義、5 番岩上尚のロングシュートが決まりだし、徐々に点差をつめていった。通津の速攻、カットイン、サイドシュート、ポストシュートなど多彩な攻撃に対し、氷見南部はロングシュート、サイドシュートで応戦、前半は 15 対 13 の通津 2 点リードで折り返した。

後半は、両チームともスピードある攻撃を展開し、終盤まで 1 〜 2 点差の一歩も譲らない展開が続く。氷見南部は後半だけで 4 人の退場が出るなど苦しい展開を強いられるが、残り 1 分、3 番岩上義のロングシュートで 1 点差まで追い上げた。残り 20 秒、通津の 7 mスローを氷見南部の 1 番南部が見事にセービングするが、そのリバウンドを通津 2 番角田が確実にゴールに押し込み、結局 31 対 29 で通津が勝利し決勝進出を決めた。

両チームともスピードあるプレーを繰り広げた好ゲームであった。

明倫（福井） 26（6 − 9、15 − 12）24 三郷北（埼玉）
（延長 3 ― 1、2 ― 2）

明倫 6 番川島と三郷北 2 番松本の両エースのロングシュートで始まった前半、三郷北は 3 番会田の速攻と 7 番吉野のカットインなどで立ち上がりの流れをつかんだ。明倫はキャプテンの 7 番安藤、8 番田中がカットインで連打を浴びせ、前半 16 分に 7 mスローで 6 対 6 の同点に追いついた。両者の堅いディフェンスのなか、三郷北は 4 番高橋のサイドシュートから再度リードを奪い、前半を 9 対 6 で折り返した。

後半、明倫は 3 番栄のポストシュートで追い上げたが、三郷北 GK1 番加藤の好セーブに阻まれる間に 3 連打を浴びた。三郷北はリードを保ちつつも、ディフェンスで立て続けに退場者を出し、明倫は 5 番江岸のスピードある速攻から怒涛の 4 連続得点もあり、後半 20 分ついに同点とした。終盤は死力を尽くした攻防の末、21 対 21 で延長戦に突入した。

延長前半、明倫 7 番安藤は 1 分にポストシュート、3 分に 7 mスローを決めるなど気迫あふれるプレーで 24 対 22 のリードの原動力となった。延長後半、懸命のディフェンスから速攻に運ぶ三郷北だったが、明倫の GK 岩永の好セーブに阻まれた。最後は明倫 3 番栄が勝利を決定付けるシュートを決めて、26 対 24 で明倫が勝利、決勝進出を果たした。



▼決勝

明 倫 51（22 − 12、29 − 18）30 通 津

立ち上がりは両チームとも動きが固く、ミスが目立つスタートとなった。明倫はパスカットからの速攻、セット攻撃でも 7 番安藤のカットイン、3 番栄のポストを活かした攻撃で着実に得点を重ね、リードを広げた。一方、相手の高いディフェンスに攻めあぐねていた通津は、前半 15 分あたりからキャプテンの 2 番角田を軸に本来のリズムを取り戻すが、明倫の GK 岩永の好守に阻まれ、10 点のリードを許して前半を折り返した。

後半も通津は技巧派・角田のカットインやミドルシュートで追いすがるが、攻守にわたって明倫の高さに苦戦を強いられた。総合力勝る明倫が、安定した力を発揮して初優勝を飾った。



女 子

▼準決勝

大蔵（兵庫） 24（9 − 7、15 − 13）20 氷見北部（富山）

試合開始から両チームともスピードのある攻撃で、大蔵は 10 番三宅、4 番真島、氷見北部は 3 番大石、10 番森を中心に得点を重ねた。また、両チームともディフェンスが荒く、前半 7 分でそれぞれ 3 枚ずつのイエローカードが出るという序盤の展開となった。前半の中盤は大蔵が連続得点を重ね、7 対 3 で大蔵が 4 点リードしたところで、たまらず氷見北部がタイムアウト。その後は、両チーム互いに 1 点を取り合うゲーム展開となった。ノーマークシュートを大蔵 GK 波多野、氷見北部 GK 廣上が好セーブ、なかなか得点が動かなかったが、相手ミスを着実に自分たちのものにした氷見南部

が徐々にその差をつめていった。前半は 9 対 7 と大蔵リードではあるが、追い上げる氷見北部ペースで折り返した。

後半早々、氷見北部が速攻からの 3 連続得点で逆転するが、大蔵も負けじと 3 連続得点で再逆転、さらに氷見北部が連続得点で 12 対 12 の同点となった。しかし、大蔵は氷見北部が退場者を出すなか、相手のミスから 3 連続得点し、ペースをつかんだ。氷見北部 14 分過ぎに 11 番森のステップシュートで 18 対 16 と 2 点差に縮めるが、大蔵も氷見北部のディフェンスのすきをつきカットインシュートで応戦した。その後しばらくは 1 点を取り合う目の離せない状況が続いたが、氷見北部は再三の GK のファインセーブを生かせず、ミスの連続から得点できなかった。それに対して大蔵は最後までディフェンスや速攻の足が止まらず、着実に得点を重ね、24 対 20 で大蔵が決勝進出を決めた。

光陽（福井） 23（14 − 4、9 − 15）19 甘楽第一（群馬）

攻守の安定している光陽は、前半スタートから甘楽第一を圧倒した。2 番堀川、3 番坂本のロングシュートやカットインプレーで得点し、攻撃を組み立てる。13 番永田の長身を生かしたポストプレーで甘楽第一ディフェンスをかき回し、両サイドから 4 番林、5 番川上の確実なシュートでリードを広げた。一方、甘楽第一は 3 番杉田や 2 番井澤のロングシュートで応戦するが、得点にならない。また、7 番林がポストからのフォーメーションプレーをしかけるが、光陽ディフェンスには通用せず、前半終盤にも速攻で得点を重ねた光陽が 14 対 4 の大差で折り返した。

後半、甘楽第一はボールカットからの速攻をねらいとした 4 − 2 ディフェンスへの切り替えが功を奏し、光陽のパスミスを誘い速攻で得点を重ねた。対する光陽は、高さのあるロングシュートや長身を生かしたポストプレー、決定率の高いサイドシュート等多様な攻撃で得点し、試合を決定づけた。あきらめることなく戦う甘楽第一ではあったが、170cm を越える光陽ディフェンスは最後まで大きな壁となり、23 対 19 で光陽が勝利を収めた。

▼決勝

大蔵 28（13 − 11、15 − 14）25 光陽

前半、大蔵は長身の光陽ディフェンスのすき間を攻めるス



テップシュートやスピードあふれるカットインからつなげたポストシュートなどで得点を重ねる。一方の光陽は、大蔵のディフェンスをひきよせた後に右サイドのノーマークをつくり、4 番林の決定率の高いサイドシュートやカットインプレーで加点する。前半の終盤までは一進一退の攻防が続いていたが、光陽のシュートミスを速攻につないだ大蔵が 2 点抜け出して前半を終了した。

後半に入り、光陽の長身ディフェンスの上から、大蔵 4 番真島がロングシュートを打ち込み、次第に大蔵がリズムをつかむ。光陽は長身の 1 年生 13 番永田をポストにおいて攻撃の起点としようとしたが、運動量の落ちない大蔵のディフェンスに間をつめられ、なかなかペースをつかむことができない。点差は最大 7 点にまで開き、終盤こそ光陽もディフェンスからの速攻で盛り返したが、逆転するまでには至らなかった。

153cm の小さな司令塔・2 番大浦を軸に、最後までスピードにのった攻撃を続けた大蔵が第 3 回大会のクイーンになった。



第3回 春の全国中学生ハンドボール選手権大会

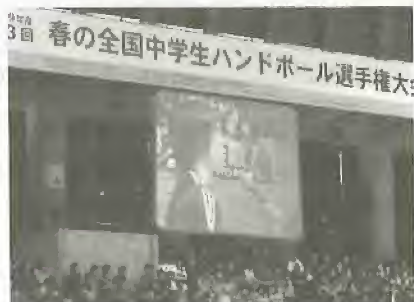
Photo Snap



会場を飾るポスター



地域ぐるみのサポート



スクリーンに映し出された宮﨑選手



地元チームとの交流試合にも



北京五輪出場を祈念した千羽鶴を手にする宮﨑選手



「ムジカグラート氷見」の迫力ある演奏



入場行進



地元富山県代表



全国から集まった、男女93チームの選手



金原至富山県ハンドボール協会会長の開会宣言



川上憲太日本ハンドボール協会専務理事の挨拶



氷見西部中学2年北千美さんの歓迎の挨拶

山下　泉氏
［(財)日本ハンドボール協会特任副会長］
旭日双光章
を受章



本協会山下特任副会長に於かれましては、このたび「旭日双光章」を受章なされました。今回の栄誉に対して、日本ハンドボール界を挙げまして、お喜び申し上げます。

山下特任副会長は、第12回アジア競技大会（広島県）招致が決定した折、その運営に当たるため、広島県ハンドボール協会副会長に就任され、続いて、（財）日本ハンドボール協会理事に就任、平成３年に日本で初めて開催されたアジアハンドボール選手権大会（兼第25回オリンピックハンドボール競技アジア予選大会）の実行委員長として大会を成功に導かれました。その後、広島県ハンドボール協会会長ならびに（財）日本ハンドボール協会常務理事に就任、第12回アジア競技大会終了後、同大会メモリアル大会として「ヒロシマ国際ハンドボール大会」の開催を広島市に働きかけるとともに、実施に当たっては陣頭指揮を執られ、同大会を日本ハンドボール界の国際大会として定着させられました。

さらに国際関係では、アジアハンドボール連盟マーケティング委員に就任され、東アジアハンドボール連盟の創設に当たっては副会長に就任、東アジアクラブ選手権大会を創設するなど、同連盟の組織強化に努めて居られます。

わが国のスポーツ界において、企業スポーツの衰退が目立ち始めた当時、企業チームとしてのイズミ女子ハンドボール部が日本のトップチームとして活躍していましたが、スポーツ界の社会的・経済的変化をふまえ、企業の支援を受けつつ同チームの地域密着型のクラブチームへの発展を検討されました。さらに、NPO法人広島女子スポーツクラブ（広島メイプルレッズ）の設立を果たされ、クラブの代表に就任されています。

さらに、関係団体代表者とともに、広島県のトップアスリートの集合体である「広島トップススポーツクラブ・ネットワーク」創設に向け尽力されました。このような広島県における活動は、平成12年文部科学省策定の「スポーツ振興基本計画」のモデルケースとして、全国から注目されているところです。

山下特任副会長は、平成13年から（財）日本ハンドボール協会副会長に就任されましたが、平成19年４月からは、同協会役員定年規程により、副会長職を退くことになられました。しかしながらそれまでの、国内的、国際的な知名度、交渉力に余人をもって代えがたく、理事職でない特任副会長としてその業務を継続されています。

さらには、男子世界選手権熊本大会の開催、日本リーグ委員長としての日本リーグの発展、財務担当理事としての日本協会財政基盤の強化など、多大な功績を残されています。この度、これらの功績が認められての受章となりました。

今後とも、日本ハンドボール界に大所、高所よりのご指導ご鞭撻をお願いすると共に、益々のご健康を祈念しつつ、このたびの受章を心よりお慶び申し上げます。

第5回東アジアクラブ選手権

男子はHCギョナムコロサ、女子はオムロンが優勝

第５回東アジアクラブ選手権大会は、４月４日から６日まで、熊本県の熊本県立総合体育館で開催され、日本、韓国、中国の男女計４チームが参加し、熱戦が繰り広げられた。
出場チームは、男子大同特殊鋼、湧永製薬、女子オムロン、ソニーセミコンダクタ九州（以上、日本）、韓国からは男子ＨＣギョナムコロサ、女子三陟市庁、中国からは男子北京選抜、女子北京陸軍の参加で、総当りのリーグ戦で戦われたが、男子は韓国のＨＣギョナムコロサが２年ぶり３回目、女子は日本のオムロンが３連覇を飾った。

▼４月４日（金）

【男子】

H.Cコロサ　38（17－14、21－17）31　北京選抜

〔戦評〕大型プレーヤーを揃えた北京選抜（中国）に対し、HCコロサ（韓国）のスピードプレーがこのゲームの見所であるが、序盤はコロサの５－１ディフェンスが機能し、北京選抜はディフェンスを崩せず得点できない状態が続く。一方コロサはセンター20番Lee Joon-Heeを中心に得点を重ね、リードを奪う。北京選抜は開始７分30秒に７番Zhu Xinchenのミドルシュートでやっと初得点すると、ディフェンスにも徐々に慣れ、15分には７対７の同点に追いつく。その後も交互に得点を入れ合う展開になったが、22分過ぎからコロサが11番Jung Su-Youngのカットインなどで４連続得点し、前半を17対14の３点差で折り返す。後半に入ると北京選抜はポストの２番Li Binを使った攻撃が機能し、後半開始６分には19対19の同点に追いつく。しかし、そこからコロサはセンター20番Lee Joon-Heeのカットイン、ミドルシュートやフットワークを使った堅いディフェンスから17番An Jong-Minの速攻に結びつけるなど徐々に疲れが見えはじめた北京選抜を圧倒。７点差でコロサが勝利した。

湧永製薬　28（13－12、15－11）23　大同特殊鋼

〔戦評〕日本リーグプレーオフ決勝戦では第２延長でも決着がつかず、7mスローコンテストの末、大同特殊鋼が勝利したこの対戦は、大同は５－１ディフェンス、湧永製薬は６－０ディフェンスとシステムは違うがGKとの連携もしっかりしており、前半開始15分で５対５というロースコアの展開となった。ここから湧永製薬は大同特殊鋼の45度ディフェンスの下のスペースを巧く使い、14番武藤のポストシュートが立て続けに決まると11番東の7mスロー、ミドルシュートなども決まり、大同特殊鋼を引き離す。しかし、大同特殊鋼は20番白のミドル、７番地引の速攻などで応戦し、前半は13対12と湧永製薬の１点リードで折り返す。後半開始直後、湧永製薬は同点に追いつかれるが、23番東長濱の速攻や６番山中のミドルシュートなどの活躍で徐々に点差を広げる。それに対し、大同特殊鋼は20番白と７番地引しか得点できない苦しい状況が続き、途中から13番李を投入し流れを変えようと踏ん張るが点差は縮まらず、結局28対23の５点差で湧永製薬がプレーオフの雪辱を果たした。

【女子】

三陟市庁　33（16－11、17－14）25　ｿﾆｰｾﾐｺﾝﾀﾞｸﾀ九州

〔戦評〕前半開始直後、両チームGKがナイスセーブを連発。試合が動き出したのは２分過ぎ、三陟市庁17番Park Ji-Hyunが先取点を挙げる。その後は一進一退の速い展開でゲームが進むが、18分過ぎから徐々に三陟市庁がソニーセミコンダクタ九州を引き離しにかかる。ソニーはこの試合７得点の19番川口らがくらいつき、前半を三陟市庁が16対11の５点リードで終った。後半に入っても、地力に勝る三陟市庁の優位は変わらず、９分30秒には24対14とこの試合最大の10点差に広げる。ソニーも４番山田、９番高栖らの得点で必死に追いすがるが、三陟市庁がこの試合で16点を挙げた19番Jung Ji-Haeの大活躍でソニーをしりぞけた。

オムロン　34（19－9、15－13）22　北京陸軍

〔戦評〕オムロンのお家芸「守って速攻」が爆発し、身長・パワーに勝る北京陸軍を圧倒。13分には８対２とリードする。その後もオムロンは攻撃の手を緩めることなく、19対９の10点差で前半を終る。後半に入ると、10分までにオムロンは５連続得点をされる場面もあったが、その後は攻守のバランスが良くなり守って走っての得意パターンで得点を重ね、北京陸軍を最後までよせつけず、あぶなげなくオムロンが大勝した。オムロン20番の藤井が８得点と活躍した。

▼４月５日（土）

【男子】

H.Cコロサ　29（13－14、16－12）26　湧永製薬

〔戦評〕ゲーム開始から激しい闘志と運動量豊富な５－１ディフェンスで守るH.Cコロサ（韓国）に対し、湧永製薬（日本）は６番山中、７番福田のミドルシュートが的確にゴールをとらえ11分過ぎには３点差をつける。これに対しコロサは11Jung Su-Youngのカットイン、センター20番Lee Joon-Heeのミドルシュートなどで応戦し20分過ぎには逆に３点差をつけ流れを引き寄せたかに見えたが、湧永は22分のタイムアウト後、13番新のサイドシュートや14番武藤のポストシュートで流れを引き戻し、14対13の１点リードで折り返す。後半に入るとコロサは湧永の攻撃を10分間無得点に押さえる間に17番An Jong-Minのサイドシュートや

20番Lee Joon-Heeのミドルシュートなどで6点連取し、5点差をつけ大きくリードする。その後一進一退の攻防が続き、20分過ぎ湧永はコロサの立て続けの退場の間に2点差まで詰め寄ったが、またも17番An Jong-Minのサイドシュートが立て続けに決まり、29対26の3点差でコロサが勝利した。

大同特殊鋼　36（20－10、16－19）29　北京選抜
〔戦評〕大同特殊鋼の堅い守りとそこからの速攻、多彩な攻撃プラス華麗なスカイプレイが随所に折りこまれた攻撃が爆発し、前半20対10の大差をつけ折り返す。後半、少しミスが出だした大同特殊鋼に対し、追いすがる北京選抜のパワーとスピードが爆発。20分からの5連続得点で5点差までつめよるが、大同のうまいタイムアウトで流れを切られ、最終的には36-29で大同特殊鋼があぶなげなく逃げ切った。

【女子】
三陟市庁　41（22－14、19－13）27　Beijing Army
〔戦評〕三陟市庁は速いパス回しからの多彩な攻撃と、要所でのGK12番Park Mi-Raのファインセーブもあり、前半を22対14と8点リードで前半を終わる。後半立ち上がり三陟市庁の足が止まり北京陸軍に5連続得点をゆるし4点差まで追いあげられ、苦肉のタイムアウト。しかしそこから目がさめた三陟市庁は残り16分で15得点の猛攻を見せ、終ってみれば41対27で北京陸軍を圧倒した。三陟市庁の13番Yoo Hyun-Jiと19番Jung Ji-Haeの活躍が光った。

オムロン　24（9－11、15－12）23　ｿﾆｰｾﾐｺﾝﾀﾞｸﾀ九州
〔戦評〕前半立ち上がり、オムロンは17番東濱、20番藤井の連続得点でゲームを優位に進める。しかし、それからミスが続きなかなか突き放せずにいたが、14分過ぎ相手退場の間に差を広げ8対4とした。しかし、そこからソニーセミコンダクタ九州は速いフットワークと豊富な運動量でディフェンスを固めると、7番工藤が次々に速攻で得点を決める。更に相手退場の間にも3番長野、19番川口のミドルシュートなどで得点を重ねて勢いに乗り逆転。11対9と2点差をつけて前半折り返す。後半に入るとオムロンは20番藤井がミドルシュートを立て続けに決め同点に追いつくと、そこからは互いに点を取り合う一進一退の攻防が続く。20分過ぎオムロンは相手のミスに乗じ8番佐久川の速攻でやっと2点差をつけるが、ソニーも17番東のミドルシュートや7mスローで応戦し、なかなか点差が離れない。白熱した攻防は最後まで続き、オムロンが24対23の1点差で逃げ切った。

▼4月6日（日）
【男子】
湧永製薬　31（18－12、13－15）27　北京選抜
〔戦評〕北京選抜のスローオフで始ったゲーム、両チーム2点ずつを5分間で取り合い静かな落ち着いたゲームにみえたが、荒い北京選抜のディフェンスに我慢しながらの展開になった。20分まで11対9で一進一退の湧永製薬リードのゲームであったが、ディフェンスが合い始めた湧永が速攻あり、東長濱の個人技ありで一気につきはなし、前半を湧永が18対12の6点差リードで終る。後半北京選抜が好調に得点を重ね、一時は4点連取もあり3点差までつめよられる場面もあったが、GK志水の2連続ファインセーブで湧永がシーソーゲームの流れで31対27で逃げきった。

H.Cコロサ　37（16－14、21－20）34　大同特殊鋼
〔戦評〕大同特殊鋼スローオフで始ったゲーム、初優勝をねらう大同の意気込みがH.Cコロサのディフェンスをこじ開け点数を重ね、25分まで13対11の2点リード、たまりかねたH.Cコロサがタイムアウトを取り、流れを変えにかかる。ねらいはみごと的中、それから4本の速攻を含む5点連続得点で一気に逆転に成功し、前半をH.Cコロサ16対14の2点リードで折り返す。後半、大同もコロサも一歩もゆずらず一進一退のみごたえのある得点シーンを連発するが、一日の長のあるコロサが37対34の3点差で2年ぶり3回目の優勝をかざった。このゲーム、コロサの20番Lee Joon-Heeが14得点の大暴れの大活躍であった。

【女子】
ｿﾆｰｾﾐｺﾝﾀﾞｸﾀ九州　31（16－13、15－13）26　北京陸軍
〔戦評〕大型プレーヤーを揃えた北京陸軍に対し、スピードに勝るソニーセミコンダクタ九州は、19番川口のミドルシ

ュートや 15 番寺田のサイドシュートなどで 6 点連取し、ゲームを有利に進める。北京陸軍はソニーの速いフットワークのディフェンスを攻め切れずにいたが、ポストが機能しはじめると連続で 7m スローを誘い、それを 5 番 Zong Wei が確実に決め、2-6 と追い上げる。ソニーは相手の退場の間に 7 番工藤のサイドシュートなどでまた点差を広げにかかるが、北京陸軍の 5 番 Zong Wei や 18 番 Chen Ji といった長身プレーヤーに当りが出始めて交互に点を取り合う展開になり、前半は 16 対 13 でソニーが 3 点リードで折り返す。後半の立ち上がり、北京陸軍は 18 番 Chen Ji のシュートなどで連続得点し、1 点差まで追い上げる。しかし、バックプレーヤーがソニーの速い詰めに対応しきれず単発的に空いたポストシュートが決まる他は、得点を挙げられない。ミスをスピードのある 3 番長野などにつなげられるとシュートを次々に決められ、結局 31 対 26 でソニーが勝利した。

オムロン　30（15 － 13、15 － 10）23　三陟市庁

〔戦評〕優勝をかけた一戦はゲーム開始から白熱したスピーディな展開となった。先手をとったのはオムロン（日本）だった。17 番東濱がミドルシュートを 3 連続で決めると、8 番佐久川で加点するなどして 8 分過ぎには 7 対 1 と大きくリード。たまらず三陟市庁（韓国）はタイムアウトを取ると、そこから 19 番 Jung Ji-Hae が奮起し、ミドルシュートを決めると攻撃のリズムがかみ合い始め 13 番 Yoo Hyun-Ji のサイドシュートやディフェンスから速攻をしかけ 7m スローを誘うなどして追撃し 13 対 15 の 2 点差にまで点差を縮めて前半を終了した。後半に入ると、三陟市庁は 17 番 ParkJi-Hyun、19 番 Jung Ji-Hae が連続で決め同点に追いつくが、そこからオムロン 1 番勝田、三陟市庁 12 番 Park Mi-Ra の両 GK が好セーブを連発し、点差が開かない。オムロンは 10 分過ぎから相手退場とミスに乗じ、2 番水野の速攻などで得点を重ね 15 分には 4 点差に広げる。三陟市庁もタイムアウトの後、点差を詰めたが流れは変わらず、結局 30 対 23 でオムロンが勝ち 3 連覇を果たした。

個人表彰

＜男子＞	＜女子＞
■最優秀監督賞	■最優秀監督賞
Park Young-Dae（H.C Korosa）	黄　慶泳（オムロン）
■ベストセブン	■ベストセブン
Nam Kwang-Hyun（H.C Korosa）	Park Mi Ra（三陟市庁）
Lee Joon-Hee（H.C Korosa）	Jung Ji Hae（三陟市庁）
古家雅之（湧永製薬）	藤井紫緒（オムロン）
Feng Ning（北京選抜）	川口美智恵（ｿﾆｰｾﾐｺﾝﾀﾞｸﾀ九州）
山中　基（湧永製薬）	Xu Qiuhong（北京陸軍）
Lee Jae-Woo（大同特殊鋼）	佐久川ひとみ（オムロン）
An Jong-Min（H.C Korosa）	Yoo Hyun Ji（三陟市庁）
■最優秀選手賞	■最優秀選手賞
Lee Joon-Hee（H.C Korosa）	Jung Ji Hae（三陟市庁）

参加チーム（日本）監督コメント

男　子

大同特殊鋼監督・清水博之

07 年度も大同特殊鋼に多くのご声援をくださりありがとうございました。皆様方の熱い応援に後押しされプレーオフは無事Ｖ３を達成することができました。

プレーオフでは史上初の７ｍスローコンテストまでもつれ、どちらが勝ってもおかしくない状況の中で、最後まで勝利を信じ闘った選手に感謝しております。どんな状況に追い込まれても決して諦めることなく、チームのために選手全員がひとつになった結果がＶ３に繋がったと感じています。

東アジアクラブ選手権は、今回で３回目の出場。過去２回は韓国チームに敗れ、今年こそは！の想いで参加しましたが、湧永製薬、ＨＣコロサに敗れ３位という不本意な結果に終わりました。

敗因は基本技術の差だと感じています。パス・キャッチ・ノーマークシュートなど、勝負どころでミスを連発、流れを獲らないといけない時間帯に獲れませんでした。これでは試合に勝つことはできません。日本のチャンピオンチームとして出場した責任を果たすことができず、反省しているところです。

今回も韓国チームにまた一歩およびませんでしたが、初心に返り基本技術を鍛錬し、来年こそは勝利を飾れるよう選手一同頑張る所存です。スピードとスタミナに更に磨きをかけ、パワーアップしたフェニックスにご期待ください。今後とも大同フェニックスをよろしくお願い申し上げます。

湧永製薬監督・山口　修

さる４月４日～４月６日まで熊本で開催されました東アジアクラブ選手権に、湧永レオリックは初出場致しました。プレーオフでの残念な結果と、監督交代や引退選手が２名出たことによる新しい陣容での戦いという事もあり、選手・スタッフ全員が高いモチベーションを持って試合に挑むことができました。

大会初日の大同フェニックスとの試合では、選手全員がプレーオフの悔しさをパワーに変え、強い気持ちでプレーしてくれた結果 28 対 23 で勝利することができました。２日目の HC コロサ戦、最終日の北京選抜戦においては普段、国内で行う試合とは違い、日本を代表して試合をすることの重み、難しさを感じながらの試合だったと思います。HC コロサはスピードプレーの中でもミスが少ない、さすが韓国ナンバー

ワンチームだと感心させられました。結果は前半リードしたものの、勝負所でのミスで26対29で敗れました。北京選抜はハンドボールの技術は荒削りでしたが、体格を生かしたプレーにはかなり苦しめられました。結果は31対27と僅差の勝利となり、通算２勝１敗で大会を終えました。選手にとっても、初めてチームを指揮した私にとっても貴重な経験が積め、収穫の多い大会でした。

本来でしたら日本リーグ優勝チームのみが出場できる大会に、地元開催枠で出場させていただき誠にありがとうございました。この大会を開催するにあたりご尽力されました皆様に対して、この誌面をお借りして感謝申し上げます。

女　子

オムロンヘッドコーチ・黄　慶泳

大会の準備

先ずは日本リーグで優勝し、日本のチャンピオンとして東アジアクラブ選手権の出場権を獲得できたことに大変光栄だと思います。そこに至るまで熱い応援と物心両面にサポートして頂いた皆様には大変感謝しています。

大会の準備としては日本リーグプレーオフが終わった後、主力メンバーがオリンピック最終予選に日本代表が６名、韓国代表が１名参加していて帰国２日後に試合をしなければならない状況でありました。チームの基本戦術と選手個々のコンディションを確認し大会に臨むことになりましたが、体力面の負担を抱えながら対戦相手に対する準備が十分できないまま迎えることに自分の中には不安と心配がありました。

試合について

第１戦中国代表の北京陸軍との試合、相手の長身と力を利用したパワープレーを攻撃的な守りで対抗しながら、走りで勝つことをテーマとして試合に挑みました。序盤からイメージ通りに（試合で）速攻での点数が多く、前半を19対9と大きくリード、後半はベンチにいる選手を全員起用しながら34対22で勝利することができました。

第２戦日本のソニーとの試合、第１戦目の中国戦とは正反対のスタイルで、細かい連繋プレーとスピードを生かしての相手に対して、個々が孤立しないで如何に組織で対応するかをテーマとし、試合に挑みました。しかし相手の細かい連繋とスピードに全く対応できず苦戦し、前半９対11と２点ビハインドで折り返し、後半も最後の笛が鳴るまで大接戦でしたが、相手選手のミスもあり、最終的には24対23で辛くも勝つことができました。

第３戦韓国代表Samcheok市庁との試合、第２戦で出た気持ちの緩みを立て直すことと若い相手に対して如何にプレッシャーかけながら勢いを持たさないで主導権を握って展開するかをテーマとして試合に挑みました。試合は立ち上がりから大きく突き放し主導権を握ることが出できましたが、前半終盤から足が動かない時間もあって前半を15対13で折り返しました。後半も離したら追いつかれる展開でしたが、中盤から積極的な守りから速攻で加点して大きく突き放し、最終的には30対23で勝つことができました。

準備からやや不安を抱えての大会でしたが、地元開催で大きな声援を送ってくださった皆様のお陰で東アジアクラブ選手権を３連覇することができました。大会の準備から運営に携わってご尽力頂きました関係者の皆様にはお礼を申し上げますと共に沢山の応援に大変感謝しています。

今後は４連覇に向けて挑戦したいという気持ちは強いですが、その前に国内リーグで勝ち抜くためには絶えず努力しなければならないと思います。他チームの成長と戦力アップは著しくて今年はもっと激しくなると感じています。満足することなくこの大会で得た経験を糧にしてがんばりますので、引き続きましてのご声援を宜しくお願いします。

ソニーセミコンダクタ九州監督・緒方嗣雄

第32回日本リーグでのチーム目標は、プレーオフ出場の３位以内を目指し、スピード・ハンドボールを掲げ、走力の強化と得点源の田中・郭両選手だけでなく全選手が得点をとる攻撃力を重点にチームづくりをしてきました。

予想通りにリーグ戦を戦うことができました。特に実業団大会で完敗した北国銀行に３試合ともに１点差で勝ったことがプレーオフ出場に大きく影響しました。プレーオフ準決勝での北国銀行戦は、準備以上の力を発揮することができ、初めての決勝進出。オムロン戦は何の準備もなく、準決勝の勢いと全員一丸で戦ったが惜しくも１点負けでした。

日本開催となった東アジアクラブ選手権に初参加するチャンスを得ましたが、チーム状態は一番難しい時期に当たり、試合に対しての準備不足のまま参加となりました。

チームとしては初の国際大会、ゲーム初出場の選手での試合となった第１戦の韓国・三陟市庁戦、スピーディで高度なテクニックに対してサイドシュート、ロングシュートで何とか得点することができた状態でした。第２戦は全員でよく走り、リードして進むも逆転を許してからもよく粘りましたが、またしても１点負け。第３戦は中国・北京陸軍。守りに重点をおき速攻にもっていく戦術が成功し勝利することができました。大会３位となりました。またベストセブンに川口選手が選ばれてチーム全員の驚きでしたが、本人には大きな自信となったことと思います。

ソニーチームにとって東アジアクラブ選手権の４日間は、試合に限らず大会を通しての経験は大きな励みとなります。大会関係者の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

第1回 日韓男子代表国際交流定期戦

1st Japan-Korea Men's National Team Home & Away Matches

IHF世界最終予選壮行試合

■5月3日（土）：韓国・光州市

日　本　29（13-18, 16-12）30　韓　国

〈戦評〉１月の再予選時よりお互いに若手層が主体のチーム構成であった。日本は、武田・河瀬を軸に６－０ディフェンス、韓国は３－２－１ディフェンスでスタートした。宮崎の切れの良いブレイクスルーで先取点を奪うと韓国もすかさずポストプレーで追いつく。互いにキーパーの好セーブが光りなかなか点差を開くことが出来ない。前半20分過ぎ辺りから疲れが出た所で末松の退場がからみ、５点のリードを許し前半を終える。

後半立ち上がり、うまく相手のミスを誘い、末松・高智・鶴谷らの活躍により５連続得点で一気にふりだしに戻した。その後、７ｍスローを阻まれてから２点差にされてしまうが、日本の激しいディフェンスに韓国が攻め手をなくす場面が多く見られるようになる。攻撃もポストの武藤をバックプレーヤー陣がうまく使い得点を重ねる。終盤に入り韓国に退場者が出る。すかさず棚原の速攻、宮崎の強打で追いつき残り１分を切る。逆転をねらったポストパスが通らず、逆に速攻をかけられ逆転を許す。残り７秒でタイムアウトから７人攻撃で同点をかけた最後の攻撃に出るが、ゴールを揺らすことが出来ず、１点差の敗戦であった。

《得点》宮崎：７点、末松：６点、武藤：４点、棚原：３点、河瀬、東長濱秀作：２点、猪妻、鶴谷、新、高智、東長濱秀希：１点

■５月９日（金）：愛知県・スカイホール豊田

日　本　23（11-12, 12-13）25　韓　国

〈戦評〉５月30日に開幕する北京オリンピック世界最終予選に向けての壮行試合は、日本のスローオフで始まった。５月３日韓国アウェイでは惜しくも１点差で敗れたが、ホーム豊田では予想を上回るサポーターの前で最終予選に向けて弾みをつけたい。高いDFに対しなかなかシュートまで行けない日本は、開始１分40秒で岸川のバックからのシュートで先制するが、その後韓国のプレスに力のないシュートが続き、10分まで２点目が入らない。一方韓国は３：２：１DFの日本に対し、スクリーン、クロスを有効に使い得点を重ね、15分には９対３と一方的に試合を進める。しかし、10分過ぎから東、古家を投入した日本に徐々にリズムが生まれ、15分過ぎには古家、宮崎のバックからのシュート、ブレイクスルーなどで３連取を３回重ね、11対12と１点差まで追い上げ前半を終了した。

後半立ち上がり高智が退場したが、東のサイドシュートで同点に追いついた。しかし、失点後のクイックスタートのミスが重なり、10分過ぎには14対19と差を広げられる。その後日本は、必死のDF、GKの好セーブで１点差に迫り、逆転したいところだが、勝負所で韓国左腕ジョン・スヨンのバックからのシュート、ポスト、速攻と得点され追いつけない。残り２分を切った場面で韓国に退場が出たが、チャンスにシュートミスが出て、結局23対25で敗れた。最終予選に向け、プレーの精度、シュートを含めたセットオフェンスの得点力など課題が残った試合であった。残り３週間しっかり修正して、最高のゲームで選手、サポーターの夢を叶えて欲しいと思う。

《得点》宮崎、末松：４点、富田、古家：３点、豊田、東、東長濱秀作：２点、岸川、野村、高智：１点











ドクター・水素水 ―― 特殊セラミックTスティック

簡易型水素発生「生」水器（水素発生ミネラルスティック）

豊富な水素が 水を変える！

フレンディアはJADMA（日本通信販売協会）の正会員です。

JADMA 社団法人日本通信販売協会会員

健康は毎日の飲料水から…



※本製品は改良のため予告なく仕様・デザインを変更する場合があります。



500mlのお水にドクター・水素水スティック１本を投入。
約120分後、水温21度における容存水素量0.48ppm。（当社測定値）

日本医学交流協会医療団
（ＮＰＯ認証 東京都）



当商品は認定を受けています。
http://www.drp.ne.jp/で認定確認できます。

特許公開番号：2004-41949
韓国特許登録：529006号
米国特許番号：7189330

原材料／金属マグネシウム、天然石
サイズ／18×122mm



価格／1箱3本入り 13,440円（税込み）



水の入ったペットボトルなどの容器にスティックを入れるだけ。
2リットルの水道水にこれ１本！
しかも**6ヶ月と長持ち**です。
１日2リットル作ったとして、
たったの24円と経済的。

株式会社フレンディア

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-9-7 丸栄ビル6F
TEL：03-5728-3360 FAX：03-5728-3363
フリーダイヤル 0120-372-132（みんなに いーみず）

株式会社フレンディアのウェブサイトを併せてご覧ください。

http://www.friendear.co.jp

～今こそ新しい挑戦を～

企画・広報委員
早川　文司

Free Throw フリースロー

昨年暮れから日本中を注目させた北京オリンピック予選のやり直し問題。やり直しでは韓国の厚い壁を破れず、世界最終予選でも世界の厳しさを痛感、20年ぶりのオリンピック出場は、はかない夢に終わってしまった。あれほど連日報道したメディアも以前の静かさに戻ってしまった感がする。

そうした中で球界としては、黙って見過ごすわけにはいくまいし、あれほど盛り上がった熱気を「ああ、そうだった」では寂しい。何か仕掛けを考えるべきだろう。

変革が進む日本のスポーツ界ではあるが、まだ企業に支えられている面が多く、ひとたび企業が不況に見舞われた時は1990年代に見られたように、手放すという現象が起こりかねない危機感はつきまとう。

本来のスポーツとは「人と人をつなぐ」「地域とともに活動する」ものではないかと思う。しかし、日本スポーツは学校体育を中心に発達したことから、学校や企業内部活動の範囲からなかなか脱皮できないのが現実だろう。この当たりが欧米と比べて「スポーツ文化が育たない」と言われる一因でもあろう。

地域との連係は今後のスポーツの発展には欠かせないものだし、そうした意識を持つことが未来を開く重要なテーマではなかろうか。

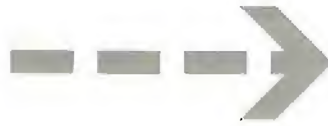
住民に愛着を持たれるチームにすることが生きる道だろう。試合の場でのイベントは今のスポーツ界では多く行われてきた。しかし、それだけでいいのだろうか。平素、地域とどれほど向き合っているだろうかを考えたい。地域イベントに参加するのも一策だし、事業所を選手が訪問して支援をお願いすることも手段の一つではなかろうか。

選手の、クラブの熱意を地域あるいは住民に感じ取ってもらうことの努力が大切だ。地域のために何が出来るか。もっともっとチームスタッフは真剣に分析し、実行に移さなくてはなるまい。

そこで出会った人には、必ず熱烈なファンになってもらえるし、バックアップしてもらえるはずだ。メディアを巻き込めれば、これはまた絶好のチャンスだ。ともに盛り上げれてくれると思う。みんなに愛され、好かれ、それが地域の発展につながれば、これほどうれしいことはない。新しい出会いを大切に、地域に還元することがスポーツの素晴らしさである。熱風が冷め始めた今こそ新しい挑戦の時だろう。

呼吸する建築

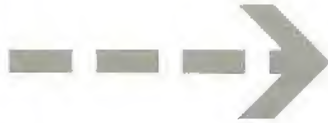






Swindow●スウィンドウ
わずかな風圧も捉えて自然に開閉し、室内外の温度差で効率の良い換気が行えるバランス式逆流防止窓。



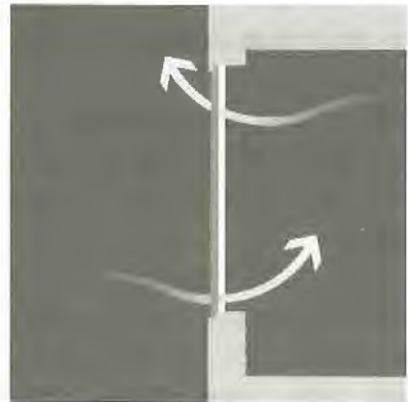




Wincon●ウィンコン
内蔵の調節弁により、風の強弱に影響を受けにくく、定風量で換気が行えるヨコ型定風量換気スリット。







Cavcon●キャブコン
内蔵の調節弁により、強風時でも一定の風量で換気ができ、無風時でも内外の温度差による重力換気が行えるタテ型定風量換気スリット。

NAV WINDOW 21

「呼吸する建築」。それは人が呼吸をするように
建築が自然に空気を取り入れ、建物内部の空気を新鮮に保ち
不要なものを排出するシステムを持つことです。
自然換気システム＝NAV WINDOW 21は
これまでの建築の機械空調と共存し
建物を取り囲む風を読み、建物内に風の道を作りそれを状況の変化に
あわせて制御する画期的な換気システムです。

三協立山アルミ株式会社
東京本社／〒164-8503 東京都中野区中央1-38-1
住友中野坂上ビル20F〈環境商品部〉 TEL (03) 5348-0367
インターネットホームページ http://buildingsash.net/

平成20年度 第11回ハンドボール研究集会要項

「ゴール型教材としてのハンドボール―その1―」

1．趣　旨　平成20年3月28日に改訂告示された小学校新学習指導要領では、5・6年生のボール運動が現行の種目の列挙を改定して3つの型に分けられ、多彩な運動が選択できるようになった。すなわち、内容の取扱いの中で、「ゴール型はバスケットボール及びサッカーを、ネット型はソフトバレーボールを、ベースボール型はソフトボールを主として取り扱うものとするが、これらに替えてそれぞれの型に応じたハンドボールなどのその他のボール運動を指導することもできるもの」とされ、さらに「学校の実態に応じてベースボール型は取り扱わないことができる」とされた。すでにハンドボールについては、従前の指導要領の全面実施によって、多くの授業実践が報告されるようになってきた。そしてほぼ10年間に渡る学校体育ハンドボール検討委員会の活動の成果として、ハンドボールは子どもたちの投能力を中心とした体力・運動能力の向上に適していることに加えて、他のボール運動より教材づくりや戦術学習が容易であること。さらに、小学1年生から6年生までの児童にとって取り組みやすく、楽しくできることなど、独自の諸特性をもっていることが明らかにされている。従って今回の改訂を受け、走・跳・投のバランスのとれたハンドボールの教材としての価値がさらにアピールされていくとともに、低・中学年のゲーム領域との関連性を考慮した一貫指導体系が確立されていかねばならないという必要性に迫られている。本研究集会では、ハンドボールの魅力や諸特性に対してさらに認識を深めると同時に、子どもたちの発育・発達に見合ったゴール型教材としてのハンドボールの指導体系の構築を目指した内容について研修する。

2．主　催　(財) 日本ハンドボール協会

3．主　管　東京都ハンドボール協会

4．後　援　文部科学省　東京都 (申請中)

5．対　象　小学校・中学校および高等学校教諭　教員養成大学学生・大学院生および教員
地域スポーツ指導者、日本ハンドボール協会J級指導員等

6．会期　平成20年　8月5日 (火)・6日 (水)

7．会場　佼成学園女子中学高等学校　〒157-0064 世田谷区給田2-1-1　TEL (03) 3300-2351　京王線「千歳烏山」駅下車　約6分

8．日程

■8月5日 (火)　受付　12：00～12：30／開会式　12：30～12：50／講義　12：50～13：50 (講師　同志社大学スポーツ健康科学部教授　渡邉　彰〈前文部科学省教科調査官〉)／研究発表　14：00～15：10／実技研修　15：30～17：00 (講師　東京未来大学　藤井喜一〈前東京学芸大学附属世田谷小学校副校長〉)／交流会　18：00～20：00

■8月6日 (水)　受付　8：30～9：00／授業提案　9：00～11：00　東京学芸大学教育学部附属世田谷小学校高学年「ハンドボール」授業・筑波大学附属小学校高学年「ハンドボール」授業／講　義　11：00～12：00 (演者　日本体育大学大学院教授　高橋健夫)／閉会式　12：00～12：15

9．学校体育ハンドボール検討委員会事務局

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1　秋田大学教育文化学部スポーツ・健康教育講座　佐藤　靖気付
TEL (018) 889-2577　FAX (018) 889-2577　E-mail：yasushi@ed.akita-u.ac.jp

10．大会事務局

〒112-0012　東京都文京区大塚1-9-1　筑波大学附属中学校内　小山　浩気付
TEL (03) 3945-3231　FAX (03) 3945-3886　E-mail：hkoyama@high-s.tsukuba.ac.jp

11．参加費　4,000円 (学生、大学院生2,000円。資料代、および保険料込み。当日受付にて徴収いたします。)

12．参加申込　①氏名　②年齢　③勤務先　④連絡先住所・電話番号　⑤交流会参加の有無を明記の上 (書式自由)、ハガキ、ファックスまたはEメールにて大会事務局までお申し込み下さい。

1) 締切り日：特に設けません。当日も受け付けます。(但し、宿泊希望者は下記7月16日 (水) までにお願いいたします。)

2) 派遣書が必要な場合は、その旨ご記入下さい。

13．発表申込　研究集会のテーマに関係する研究、および実践報告を募集します。発表を希望される方は、参加申込の上記項目に加え、⑥として発表テーマをご記入の上、学校体育ハンドボール検討委員会事務局までお申し込み下さい。

1) 口頭発表・質疑時間：発表時間は、質疑応答時間を含め、一演題につき約12分です。発表時間は演題数により変更することもあります。

2) 発表にはビデオ、パワーポイントまたは資料等を使うことができます。資料を配布される方は、100部程度ご用意下さい。

3) 締切り日：平成20年7月22日 (火)

尚、資料の送付を希望される方は、期限までに大会事務局までご郵送下さい。その他、発表に関してご不明な点はお問い合わせ下さい。

14．宿泊　宿泊希望者は7月16日 (水) までに大会事務局にお申し込み下さい。

平成20年度 実践研究推進校募集要項

「小学校体育科授業におけるゴール型ハンドボール教材の展開について」

1．趣　旨

小学校におけるゴール型教材としてのハンドボールの課題について、総合的に実践研究を行ない、体育科授業の充実を図るとともに、ハンドボールの普及を図る。

2．研究実践内容

（1）実践研究のテーマは次のとおりとする。

ア　課題解決型の学習（めあて学習）の充実とその進め方。
イ　児童の体力（投能力）の向上に関する取組の在り方と進め方。
ウ　「体ほぐしの運動」の内容と方法
エ　ゴール型教材としてのハンドボールの指導体系の在り方。
オ　運動部活動の充実と運営の在り方
カ　その他

（2）推進校は、「ゴール型ボール運動」、もしくは「ゲーム」でハンドボールを取り上げ、上記の内容から二つ以上のテーマを選び、その一つを主テーマとして、実践研究を進めることとする。

なお、上記のテーマのうち、例えばイとウなどは一体的に実践研究することもできるものであり、一体的に行なう場合は、一つのテーマでまとめて実践研究することができることとする。

3．研究実践期間

おおむね2年間とする。

4．対象推進校

各都道府県協会より推薦された小学校の中から8校程度選定する。選定は（財）日本ハンドボール協会学校体育ハンドボール検討委員会で行なう。

5．推進校の運営

（1）推進校は、校内における研究体制を整備し、必要に応じて家庭や地域との連携も図りながら、計画的、継続的に実践研究を推進する。

（2）推進校は、（財）日本ハンドボール協会、都道府県ハンドボール協会（市町村ハンドボール協会）の助言の下に実践研究を推進すること。

（3）推進校は、第1年次には実践研究の中間報告書を、また、実践研究期間の終了時には、研究成果報告書を、それぞれ日本協会の指定する様式にしたがって、都道府県協会を経由して日本協会に提出すること。

（4）日本協会は、必要に応じて推進校および都道府県協会と連絡をとり、実践研究の推進について意見および情報の交換を行なう。

6．経　費

日本協会は、研究委託費として予算の範囲内で支出委任する。委託費は、1年目が6万円、2年目が4万円とする。

7．その他

日本協会は、必要に応じて実施状況および経理処理状況について、実態調査を行なう。

8．締　切　第一次締切：平成20年7月22日（火）

9．申込、および問合せ先

ご不明な点は、以下にお問い合わせ下さい。

（財）日本ハンドボール協会学校体育ハンドボール検討委員会（代表　佐藤　靖）

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 秋田大学教育文化学部　スポーツ・健康教育講座　佐藤研究室

TEL/FAX:018-889-2577　E-mail:yasushi@ed.akita-u.ac.jp

2008年度 全国大会レフェリー名簿

(平成20年5月20日現在) 2版

大会名	開催地	期日	レフェリー氏名	開催地
実業団選手権 (8ペアー)	沖縄県 那覇市 他	7月29日 ～ 8月3日	◎吉田敏明 ○中地健三 家永昌樹・福島亮一(トップ)　多田 和生・中舘 豊(トップ) 佐々木昌弘・高原 浩徳(大阪)　野島 祥之・石原 秀和(岡山)　長谷部次雄・弘田陸仁(高知) 亀井 一寿・堀川 智宏(大分)　浦川 寿生・石崎 章弘(長崎)　上江洲 登・儀間 稔(沖縄)	沖縄県 那覇市 他8
全国高校総体 (24ペアー)	埼玉県 和光市 朝霞市 三郷市 八潮市 吉川市	7月29日 ～ 8月3日	◎細沢 覚 ○中山富夫 ○大橋幹正 安田 寛・永春 文義(トップ)　亀山 耕司・浅井 宏信(北海道)　山口 淳・川村 俊彦(岩手) 西山 健臣・木村 篤史(宮城)　小林 一夫・土屋 雅男(埼玉)　植村 彰・後藤 宜夫(千葉) 四元 俊一・野中 毅(栃木)　浅野 明彦・加藤 道夫(神奈川)　堀江 成典・梶原 敏幸(東京) 吉田 利和・矢崎 豊(山梨)　江原 秀一・前原 征司(東京)　金坂 英宣・談議所 啓輔(石川) 仲野 数也・園谷 健志(福井)　油上 智・中村 行志(静岡)　坪井 雅典・浅野 幹也(愛知) 川勝 宏治・川勝 裕義(京都)　前田 隆志・山本 剛(大阪)　寺口 吉行・北山 力也(兵庫) 角 直樹・白川 裕隆(山口)　中山 学・山本 篤洋(岡山)　加藤 剛基・高木 優明(香川) 奥山 誠恒・海江田貴嗣(鹿児島)　平良 徳彦・神里 太(沖縄)　池田 勝・長瀬 浩(開催県埼玉)	埼玉県 和光市 朝霞市 三郷市 八潮市 吉川市 24
4 ジャパンオープン (12ペアー) 8	女子 新潟県 上越市 男子 富山県 富山市	女 8月8日 ～10日 男 9～12日	◎島田房二 ○岩上浩一郎 ○大石克哉 秦 隆二・秦 伊織(石川)　井口 京子・村田 紀子(東京)　島尻 真理子／河合 里美(東京／愛知) 野村 舞・佐藤 晴香(東京)　福田 弘・冨田 拓(トップ)　萩原 亨・小松 大(秋田) 本田 昭太・田渕 元雄(神奈川)　川江 俊樹・徳光 明博(石川)　水内 隆夫・小林 智隆(新潟) 増田 克洋・藤坂 明雄(福井)　金原 理博・大森 聡(富山)　樋家 秀介・室田 忠央(富山)	女子4 新潟県 上越市 男子8 富山県 富山市
全国中学校 (9ペアー)	福井県 福井市	8月18日 ～ 8月20日	◎齊藤仁宏 ○岩上浩一郎 檜崎 潔・池渕 智一(トップ)　二瓶 元嘉・本田 隆(福島)　佐々木和明・稲生 淳一(千葉) 土橋 邦彦・清水 啓佑(長野)　足立 智司・田中 基明(愛知)　前田 隆志・山本 剛(大阪) 野島 祥之・石原 秀和(岡山)　高橋 卓也・清水 修(高知)　半田 有完・園谷 健志(福井)	福井県 福井市 9
国民体育大会 (18ペアー)	大分県 大分市	10月3日 ～ 10月7日	◎島田房二 ○中地健三 藤井 俊朗・大貫 嘉彦(トップ)　多田 和生・中舘 豊(トップ)　亀山 耕司・水谷 省一(北海道) 萩原 亨・小松 大(秋田)　安孫子 功・高橋 善浩(山形)　寿川 智博・稲村 正(埼玉) 比留間 康・北嶋 浩(東京)　徳前 紀和・森 義久(富山)　杉山 克政・各務 宗孝(岐阜) 森 覚・福永 賢一(奈良)　高野 修・長澤 純平(広島)　武智 誠治・壺内 博章(愛媛) 浦川 寿生・石崎 章弘(長崎)　鶴田祐一郎・近藤 晋一(熊本)　権藤 洋文・上志羽 亮(佐賀) 亀井 一寿・堀川 智宏(大分)　上杉 洋一・宮崎 和彦(大分)　上村 英司・小野 武(大分)	大分県 大分市 18
全日本学生 (3ペアー+11)	山口県 周南市	11月20日 ～ 11月24日	◎狩野幸介 ○藤井俊朗 安田 寛・永春 文義(トップ)　黒木 龍二・黒木 秀吾(トップ)　多田 和生・中舘 豊(トップ) 俵 英生・米内山壮之(北海道学連)　小川 至門・内記 徹(東北学連)　小林 一夫・長瀬 浩(関東学連) 大石 克哉・桜打 佳浩(富山)　神谷 眞次・吉田 博紀(東海学連)　佐路 清隆・佐藤 晃(関西学連) 河合 哲・田中 潤(中四国学連)　平島 哲也・川端 祐貴(九州学連)　角 直樹・白川 裕隆(山口) 飯島 浩太・川崎 尚(山口)　水津 研二・岡田 雅央(山口)	山口県 周南市 3+11
全日本総合 (8ペアー)	石川県 金沢市	12月17日 ～ 12月21日	◎島田房二 ○岩上浩一郎 10月に審判審査指導委員会で決定	石川県 金沢市 8
JOCカップ (14ペアー)	大阪府 堺市	12月25日 ～ 12月29日	◎齊藤仁宏 ○小山 勉 檜崎 潔・池渕 智一(トップ)　黒木 龍二・黒木 秀吾(トップ)　新谷 幸司・関口 直人(山梨) 戸塚 幸廣・勅使河原誠(群馬)　野平健二郎・相坂 賢将(埼玉)　神谷 眞次・吉田 博紀(愛知) 飯田 一郎・早瀬 司(滋賀)　佐路 清隆・佐藤 晃(京都)　貝田 良寛・上野 修一(兵庫) 山本 淳・山本 孝志(島根)　竹安 未央・吉田 達明(鳥取)　加藤 剛基・高木 優明(香川) 杉本 弘樹・井上 雄介(大阪)　伊藤 保仁・尾崎 浩祥(大阪)	大阪府 堺市 14
春の中学大会 (18ペアー)	富山県 氷見市	3月25日 ～ 3月29日	◎島田房二 ○齊藤仁宏 ○岩上浩一郎 藤井 俊朗・大貫 嘉彦(トップ)　黒木 龍二・黒木 秀吾(トップ)　池田 忠克・中島 宏幸(北海道) 櫻庭 正明・門前 広光(青森)　森 義則・佐々木充宏(秋田)　泉水 孝浩・田中 啓輔(千葉) 松川 純史・木村 拠(神奈川)　島尻真理子／河合里美(東京／愛知)　野村 舞・佐藤 晴香(東京) 水内 隆夫・小林 智隆(新潟)　土橋 邦彦・清水 啓佑(長野)　田村 裕志・八十山 修(石川) 増田 克洋・藤坂 明雄(福井)　船津 克弘・松尾 統央(愛知)　飯田 一郎・早瀬 司(滋賀) 濱田 哲雄・大崎 祥弘(高知)　荒木 裕志・中藤 圭祐(宮崎)　田中 宏育・屋敷 吉秀(富山)	富山県 氷見市 18
全国高校選抜 (18ペアー)	徳島市 徳島市	3月25日 ～ 3月30日	◎細沢 覚 ○中川利彦 ○大橋幹正 家永 昌樹・福島 亮一(トップ)　篠原 理・水谷 省一(北海道)　斉藤 崇・市丸 成彦(岩手) 長谷川素道・物部昌太郎(東京)　仲野 数也・宮川 大(福井)　片山 聡・大岩 広人(静岡) 丸山 竜司・近藤 喜夫(三重)　佐々木昌弘・高原 浩徳(大阪)　貝田 良寛・上野 修一(兵庫) 三宅 秀明・森脇 雄治(岡山)　飯島 浩太・川崎 尚(山口)　森實 岳史・河野 翔保(愛媛) 長谷部次雄・弘田 陸仁(高知)　金子 弘明・児島浩三郎(長崎)　山下 智紀・森田 勇(熊本) 岩崎 栄一・和田 保典(宮崎)　西内 浩貴・川西 和男(徳島)　小川 昌志・天野 誠司(徳島)	徳島市 徳島市 18

協会だより

平成19年度第2回評議員会

日　時：平成20年2月2日（土）
13:00-16:00
場　所：ナショナルトレーニングセンター・アスリートビレッジ研修室
評議員現在数　53名
出席者（敬称略、名簿順）
■評議員：小島収治、齋藤　浩、谷藤勝美、後藤義信、安田博之、山下勝司、齋藤光男、塩川安賢、森川利昭、竹内佳明、井川邦彦、庄司勝三、夏目眞治、名倉昭弘、前川和三、中村博幸、大原康昇、森江和吉、増田雅夫、松本育男、長尾輝夫、田中達男、田中　守、末次　功、佐藤喜一、堀之内真澄、原田孝幸、齋藤節郎、川原繁樹、木野　実　以上30名
■委任状提出評議員：今野正志、菅野　肇、奥山重雄、上久保重次、内記英夫、平塚一彦、寺崎　修、中山圭三、久保田龍治、村木啓作、藤本　昇、中井公人、塩崎信治、松原紀機、後山富士水、髙野　修、武田末男、石井通義、大宮　泉、本田娟一、新垣　健、河先　修、三辻陽夫　以上23名
■理　事：渡邊佳英、市原則之、川上憲太、兼子　真、角　紘昭、蒲生晴明、江成元伸、伊藤宏幸、大橋則一、田中　茂　以上10名
■監　事：川上整司、荘林康次、高田日呂美　以上3名
■特任副会長：鶴保庸介　以上1名
■オブザーバー：井上　敏　以上1名
■事務局（床尾）
以上、出席評議員30名、委任状提出評議員23名、出席理事10名、出席監事3名、特任副会長1名、オブザーバー1名、事務局1名

〈評議員会成立の確認〉

兼子総務担当より、本評議員会が成立していることが報告された。

議事進行に先立ち渡邉会長､川上専務理事、鶴保特任副会長より挨拶があった。

渡邉会長挨拶

第二回の評議員会にご出席頂きお礼申し上げる。アジア予選の再試合のため事務局も非常に大変な時であったので、私自身も本日の会議の時間を承知していないなど連絡が遅れたことに対しお詫び申し上げる。

朝日新聞の記者によると、AHFのアブレイルは、再試合は日本にとってメリットがあったのか、と言っているらしい。我々にとって再試合はフェアプレイを守るためであり国のためではない。再試合では選手、満員の観客など素晴らしい試合であったことに感謝したい。

ある記事のアンケートによると、このハンドボール人気は続かないといった回答が6割以上だったが、いかにして人気の持続とハンドボールを発展させるか、皆さんと一致団結し素晴らしいハンドボール界を作っていきたい。

川上専務理事挨拶

8月のカザフスタン、9月の豊田市でのアジア予選の結果を踏まえて調査委員会を立ち上げた。スポーツの尊厳を汚さないよう、監督やコーチに過去10年間の試合内容について事情確認を行った。韓国は対クウェート戦のDVDを作成しIHFに提議した。

12月17日のIHF理事会にて再試合が決定され、その後、開催地や開催日程が決定され1月29日、30日に再試合が行われた。正月およびその後も不眠不休の事務局に感謝する。

各大陸の予選がそれぞれで開催されているが、日本が再試合を開催することになったのはIHF指名の審判員による公平な試合を大切にしたかったからであり、再試合をさせろとAHFに申し立てた訳ではないことをご理解願う。

鶴保特任副会長挨拶

色々とあったが､大会が成功して良かった。今後も協力してゆきたい。

次に議長の選出が行われ、寄附行為第28条、第3項に基づき、渡邊佳英会長が議長となることが報告された。

〈議事録署名人の選出〉

議長の渡邊会長より、議事録署名人の指名が行われ、議長渡邊佳英会長、山下勝司評議員、竹内佳明評議員、川上憲太専務理事が指名され、満場一致で承認された。

審議事項

1.　平成19年度第二次補正予算案について

兼子会計担当常務理事より、平成19年度第二次補正予算について説明された。北京五輪再試合が入るので、収入では、入場料収入、放映権料収入、マーケティング事業収入を増額した。同再試合の事業支出を入れた。

統括表より当期収入を111,805,000円増額し、578,784,500円とした。これに伴い当期支出も140,485,500円増額し、5638,309,440円とした。

審議の結果、全員異議なく、本件は可決承認された。

2.　平成20年度事業計画（案）について

川上専務理事より、平成20年度の事業計画について概略が説明がなされたのち、各担当常務理事より、説明が行われた。

塩川評議員（東京都）より、事業計画案と予算は連動しているので一緒にやってはどうか、また、大きなプロジェクトがあったので、第3次補正が必要ではないのかとの質問に対し、渡邉会長より、決算は一緒でも今回は別々に審議すると説明がされた。

審議の結果、全員異議なく、本件は可決承認された。

3.　平成20年度事業予算（案）について

兼子会計担当常務理事より、平成20年度の事業予算について説明がなされた。事業活動収入及び特定資産取崩で合計442,662,500円に対し、事業活動支出及び予備費支出で合計437,746,960円となり、当期収支差額は4,915,540円となる。川上専務理事からは、大きなところでは、中学生の登録で1,000万円増えることになっている。

審議の結果、全員異議なく、本件は可決承認された。

報告事項

1.　北京オリンピックアジア予選再戦に至る経緯について

川上専務理事より、再試合に至る経過報告が説明された。市原副会長より、蒲生総監督は現場に集中するため代わって説明するが、再試合で負けたうえに赤字を出して日本協会の対応に疑問の声がある。この騒ぎに浮かれてはいけない。再試合の入場者数は日本協会の力ではなくメディアの力である。金持ちが金の力で子供の道を開くか、貧しい子を支える親心かである。

2.　平成20年度登録について

兼子常務理事より、報告された。

塩川評議員（東京都）より、中学校の担当となり大会を観にいったが､お粗末であった。登録料を取るなら取るで、教育もきちんとし

て頂きたいとの意見があった。

3. 平成20年度国内・国際大会、会議日程案について

江成常務理事より、大会日程の報告がなされた。追加があればご連絡願う。

兼子常務理事より、会議日程の報告がなされた。

田中守評議員（福岡県）より、NTCの合宿日程などがホームページに掲載されているが、確定していないものは掲載しない方が良い、又、原田評議員（実連）より、チェレンジリーグの候補地のアンケートをお願いするのでご検討願う、等の発言があった。

4. がんばれ10万人会について

伊藤常務理事より、報告がなされた。

5. その他

1）第45回車椅子大会について

木野評議員（車椅子）より、参加9チームで白熱した試合との発言があった。

2）自由発言

大原評議員（兵庫県）より、AHFとのやり取りはうすうす気が付いていた。神戸の時には中東のチームは来ていなかったが、空白の一日や、去年のアジア大会でも納得のいかないことがあった。スポーツは教育であると思う。ハンドボールでこのようなことがあってはならない。審判員と選手のユニフォームの色が判別しにくい。反則を取られた選手のジェスチャーがオーバーである。

渡邊会長より、ユニフォームは青と赤は避けるようにと言われたが、韓国は赤、日本は青に決定した後だった。

塩川評議員（東京都）より、再試合の際の韓国チームに、日本のリーグに所属している選手が入っていた。韓国からの選手移籍は日本のためか、韓国のためか。監督にしても、試合の時だけやってくる外国人監督より、迅速に通じ合える日本人の方が良いのではないか。外国にお金を使うより日本で使うべきである。選手を小さな時から知っている監督の方がよい。

市原副会長より、実業団リーグの外国人選手登録については、段階を踏んで進める必要がある。今は選手も外国へと出て行く時代である。

森川評議員（神奈川県）より、今回ボランティアで参加し、新たな展開を迎えると感じることが出来た。マスコミに取り上げられている姿を一過性のものにしないよう、また、マスコミの誤った見方を改め、スポーツに政治介入しないよう一つにまとまった方向でなくてはならない。

川上監事より、ハンドボールがメジャーになるか、にわか景気になるか、その分析を踏まえて練習して欲しい。

荘林監事より、スポーツマン精神はもっともだが、スポーツは勝つべし。

高田監事より、小さい子供の教育が重要である。

以上で平成19年度第2回評議員会が終了した旨が告げられ、16時に閉会した。

平成19年度 第3回理事会

日　時：平成20年2月16日（土）
11:00～13:10

場　所：ベストウェスタン・ジョイテル大阪
ファンクションルーム

出席者（敬称略、名簿順）

■理　事：渡邊佳英、市原則之、川上憲太、西窪勝広、兼子　真、角　紘昭、江成元伸、伊藤宏幸、大橋則一、島田房二、田中　茂、大畑孝広、福地賢介、森安昭雄、奥田政俊、宮元章次　16名

■監　事：川上整司、荘林康次、高田日呂美　3名

■特任副会長：山下　泉、竹野奉昭　2名

■参　事：古屋正俊、小西博喜、武田節夫、稲生　茂、山本　一、佐藤公美、中野利一、近久紀人、佐藤　靖、小山哲央、坂本静男、大塚文雄、志々場修二、越田義昭　14名

■欠席者（敬称略、名簿順）：理事：蒲生晴明、高山重雄（委任状提出有り）

■事務局（床尾）

以上、出席理事16名、委任状出席2名、出席監事3名、特任副会長2名、出席参事14名、事務局1名

〈理事会成立の確認〉

定刻に開会し、兼子総務担当常務理事より、本理事会が成立していることが報告された。

次に議長の選出が行われ、寄附行為第25条、第3項に基づき、会長が議長となります。

渡邊会長より会議開始にあたり、

アジア予選の再試合はご承知のとおりとなったが、これからまた進行中である。

IHFのムスタファ会長とAHFのシェイク・アーマド会長は、今週IOCの研修会で会談し、取り敢えず、イランで開催されるアジア選手権は世界選手権予選（IHFの管理をAHFが承諾）とし、それまでCASは休戦となった。ところが、IHFはCASを拒否したのに会長独断の受入れとは何事かと、IHFの理事達が反発している。IHFには提訴委員会があるので、まずAHFはそこへ提訴するべきである。それ以前にCASを持ち出すとは順番が違う。CASの裁判結果が優先された場合、12月のIHF理事会の決定はどうなるのか注目される。

ハンドボールが注目されてチャンスであるが、仕掛けは理事会で選手は演じる人である。人気のスポーツとなるように祈る。

〈議事録署名人の選出〉

続いて、渡邊議長より議事録署名人の指名が行われ、議長渡邊佳英副会長、川上憲太専務理事、西窪勝広常務理事、森安昭雄理事が指名され、満場一致で承認された。

審議事項

1. 平成19年度第二次補正予算案について

兼子常務理事より、説明がなされた。収入では、入場料収入、放映権料収入、マーケティング事業収入を増額した。同再試合の事業支出を入れた。統括表より当期収入を111,805,000円増額し、578,784,500円とした。これに伴い当期支出も140,485,500円増額し、5638,309,440円とした。

審議の結果、全員異議なく、本件は可決承認された。

2. 平成20年度事業計画（案）について

川上専務理事より、概略が説明され、各担当常務理事より補足説明が行われた。

審議の結果、全員異議なく、本件は可決承認された。

3. 平成20年度事業予算（案）について

兼子常務理事より、説明がなされた。事業活動収入及び特定資産取崩で合計442,662,500円に対し、事業活動支出及び予備費支出で合計437,746,960円となり、当期収支差額は4,915,540円となる。

審議の結果、全員異議なく、本件は可決承認された。

報告事項

1. 北京オリンピックアジア予選再戦に至る経緯について

川上専務理事より、北京オリンピックアジア予選再戦について説明があった。今までにない観客数であった。もともとの経緯はカザフスタンと豊田で開催されたアジア予選が発端である。中東の笛によって大会前より順位が決定されていた。再試合が目的ではないので喜んでいてはならず、スポーツ精神で戦える場を選手に戻してやることである。

IHFをAHFがCASに提訴した件の経緯を見ながら、日本は地道にIHF、AHFと話し合いをして大会運営の正常化をしてゆきたい。

市原副会長は、湾岸戦争でアーマドの父親

が亡くなり、息子のシェイク・アーマドが会長代理となり、強いスポーツをつくるため、ハンドボールに目をつけたと述べた。

川上専務理事は、朝日新聞の社説がまさに日本協会の考え方と一致しており、この姿勢で日本は今後活動していくとした。

市原副会長は、東京都オリンピック招致委員会でも波紋が広がっている。石原東京都知事もスポーツを選手のために取り戻すことをしてくれと言っている。AHF の大陸連盟としての権限を上部団体である IHF が侵すのはおかしいというが、そうではなく正常なスポーツを取り戻したいということであると説明された。

渡邊会長は、フェアプレイとオリンピックは全く別のものである。AHF 緊急理事会のあと記者会見に応じて、日本への制裁措置と東京オリンピックの投票の影響について説明された。オリンピック招致では金が飛び交うため委員との接触禁止であるにも関わらず、シカゴの誘致委員と 2,3 時間ミーティングをした。これは違反である。また、CAS に提訴するのは手順が違う。IHF は初め AHF の責任で再試合を開催することとしたが、AHF が拒否をしたことが説明された。

2. 強化関係報告

アジア選手権に出張中の蒲生常務理事に代わって川上専務理事より強化につて説明された。先日、高体連で話したがジュニア・アカデミーは、優秀な子供の育成をするシステムで、NTS その他でピック・アップされた選手を育てていかなくてはならない。試合が重なるなど学校との兼ね合いがあるが宜しくお願いしたい。

市原副会長より、補足説明がされた。世界で活躍する選手の育成である。ジュニア・オリンピックに出てくる選手に大きな選手がいても試合で使っていないことがある。指導者の考えもあると思うが、こうした選手を使わないのもまた差別ではないのか。

小西参事より、高体連で話したそうだが対象は中体連ではないのか。中学生の方が肝心である。

3. 平成 21 年度叙勲候補者推薦について

伊藤常務理事より、報告がなされた。該当者の推薦が依頼された。

4. 平成 19 年度日本協会表彰について

伊藤常務理事より、報告がなされた。各連盟、都道府県協会は 3 月 31 日までに書類の提出が求められた。

5. 平成 20 年度登録について

兼子常務理事より、報告がなされた。例年より準備が遅れたため、来週末には登録関係書類を発送する。また、委員会名簿が一部まだ届いていないが、委嘱状発行のことがあるので毎年提出をお願いしたい。

6. 平成 20 年度国内・国際大会日程について（大会要項）

江成常務理事より、報告がなされた。まだ未定の大会は早急に対応願いたい。

兼子常務理事より、全国大会だけでなく、ブロック大会についても連絡を依頼された。

稲生参事より、国体の大学生 6 名までというのは撤廃について配布要項が間違っていることが指摘された。

小西参事より、車椅子は 11 月下旬～ 12 月に第 6 回大会を開催予定と報告された。

7. 平成 20 年度会議日程について

兼子常務理事より、報告がなされた。

8. 日本リーグプレーオフについて

田中常務理事より、報告がなされた。再試合の際にはリーグのチームにご迷惑をお掛けした。アジア選手権もナショナルの選手抜きでお願いしている。そのため、選手が数多く抜けるチームは特別に選手登録を認めている。プレーオフについては、全国放送を望む声に応えて J-SPORTS と契約。有料放送であるがキャンペーンとしてお試し期間 3 ヶ月間は無料である。来季、リーグに沖縄の琉球コラソンが加入する。

9. がんばれハンドボール 10 万人会

中野参事より、報告が成された。10 年目を迎えて 10 万人を突破しており、第 2 ステージへ移行しなくてはならない。プレーオフの 10 万人会会員の扱いはチケット販売の関係から希望者のみとする。

荘林監事より、今年中に案提出とのことだが、案だけなのか、スタートさせるのか質問された。

10. その他

1）小西参事より、車椅子大会についてお願いされた。
2）近久参事より、機関誌の記事についてお願いされた。
3）川上監事より、再試合は賛否両論あったが、マスコミ対策が重要と感じた。監督の顔が見えないので、機関誌にも監督の記事を掲載した方がよい。
4）荘林監事より、再試合は無事に終わったが、ハンドボールへのフォローの風やメディアの露出時間には経済効果があった。この機会に何をするべきかであるが、チームを強くすることが第一であり、韓国に勝つべきである。韓国に勝てないなら世界に出られないのである。

市原副会長より、閉会にあたり挨拶があった。

ご多忙のなか、プレーオフもあって大阪へお越し頂いた。韓国の問題はその時代にあった判断をするべきである。良い意味で韓国をライバルにするべきである。この程度で良いと自己満足するのではなく、もっと活かしていくべき。役員はもっとしっかりするべきであり皆さまのご支援を賜りたい。

予定していた議案について全て終了した。13 時 10 分に平成 19 年度第 3 回理事会は閉会した。

スコアールーム ①

第3回春の全国中学生ハンドボール選手権大会

開催期日：2008年3月23日(日)～26日(水)
会　場：富山県・氷見市ふれあいスポーツセンターほか

【男　子】

▼1回戦

小山第三（栃　木）	22	（11－7、11－8）	15	舞　鶴（鹿児島）
仲　西（沖　縄）	36	（16－10、20－10）	20	松　里（山　梨）
大体大附（大　阪）	29	（16－6、13－12）	18	城　東（徳　島）
郡山第一（福　島）	33	（18－8、15－6）	14	境港第一（鳥　取）
ＨＣ岐阜（岐　阜）	23	（12－6、11－16）	22	けやき台（茨　城）
三郷北（埼　玉）	36	（18－14、18－16）	30	羽　後（秋　田）
白　子（三　重）	26	（11－11、15－10）	21	市　川（千　葉）
東久留米西（東　京）	33	（17－5、16－14）	19	大　住（京　都）
氷見西條（開催地）	30	（15－11、15－15）	26	西南学院（福　岡）
松　橋（熊　本）	52	（29－7、23－5）	12	柿　崎（新　潟）
明　倫（福　井）	37	（22－10、15－11）	21	神　埼（佐　賀）
清水第二（静　岡）	31	（15－11、16－13）	24	昭和北（広　島）
中川西（神奈川）	36	（20－7、16－6）	13	椿（愛　媛）
西南部（石　川）	28	（16－11、12－13）	24	岩出第二（和歌山）
汐　路（愛　知）	26	（12－6、14－4）	10	月　寒（北海道）

▼2回戦

小山第三（栃　木）	33	（16－3、17－7）	10	三本木（青　森）
松　橋（熊　本）	35	（14－6、21－12）	18	上（奈　良）
仲　西（沖　縄）	33	（14－8、19－8）	16	矢　巾（岩　手）
氷見南部（富　山）	34	（19－7、15－14）	21	土　佐（高　知）
三　松（宮　崎）	24	（11－14、13－7）	21	西南部（石　川）
汐　路（愛　知）	23	（8－5、15－10）	15	高　砂（兵　庫）
氷見西條（開催地）	30	（15－11、15－12）	23	富岡南（群　馬）
郡山第一（福　島）	39	（18－8、21－10）	18	滝　尾（大　分）
通　津（山　口）	26	（12－9、14－10）	19	ＨＣ岐阜（岐　阜）
大体大附（大　阪）	29	（18－3、11－12）	15	更埴西（長　野）
白　子（三　重）	36	（20－7、16－5）	12	鳥居本（滋　賀）
東久留米（東　京）	26	（15－11、11－14）	25	倉敷東（岡　山）
三郷北（埼　玉）	30	（13－11、17－6）	17	日　吉（長　崎）
中川西（神奈川）	25	（16－5、9－12）	17	仙台高砂（宮　城）
明　倫（福　井）	32	（19－9、13－12）	21	香　東（香　川）
尾花沢（山　形）	34	（17－4、17－10）	14	清水第二（静　岡）

▼3回戦

氷見南部	25	（16－9、9－11）	20	小山第三
明倫	30	（17－8、13－14）	22	東久留米西
郡山第一	32	（17－10、15－9）	19	白子
汐路	24	（11－9、13－8）	17	仲西
松橋	24	（15－10、9－10）	20	中川西
三郷北	28	（12－13、16－14）	27	大体大附
通津	35	（14－12、21－18）	30	三松
氷見西條	39	（19－4、20－11）	15	尾花沢

▼準々決勝

氷見南部	31	（13－12、18－7）	19	郡山第一
通津	20	（11－12、9－7）	19	松橋
明倫	25	（13－12、12－8）	20	汐路
三郷北	29	（17－16、12－11）	27	氷見西條

▼準決勝

通津	31	（15－13、16－16）	29	氷見南部
明倫	26	（6－9、15－12）	24	三郷北

▼決　勝

明倫	51	（22－12、29－18）	30	通津

▼順　位

優　勝　明　倫（福井県）
準優勝　通　津（山口県）

【女　子】

▼1回戦

香川第一（香川）	19	（9－7、10－7）	14	南林間（神奈川）
茅野東部（長野）	27	（14－12、8－10）	22	矢巾（岩手）
		（3－0 延長 2－0）		
光陽（福井）	30	（15－2、15－2）	4	周南（静岡）
花園（千葉）	22	（11－4、11－5）	9	本通（北海道）
吹上（栃木）	30	（18－5、12－10）	15	甲田クラブ（広島）
緑ヶ丘（奈良）	24	（12－5、12－4）	9	境港第二（鳥取）
氷見北部（富山）	27	（14－8、13－8）	16	舞鶴（鹿児島）
培良（京都）	33	（16－6、17－4）	10	石川（福島）
仲西（沖縄）	23	（11－10、12－12）	22	東久留米西（東京）
御幸（石川）	26	（14－6、12－7）	13	倉敷東（岡山）
東陽（大分）	30	（15－3、15－3）	6	柿崎（新潟）
神埼（佐賀）	28	（15－10、13－15）	25	湯沢北（秋田）
東陵（愛知）	13	（8－2、5－3）	5	山梨南（山梨）
住吉（山口）	24	（9－2、15－4）	6	三松（宮崎）

▼2回戦

香川第一（香川）	26	（10－6、16－4）	10	東根第一（山形）
東陵（愛知）	14	（5－2、9－4）	6	雄新（愛媛）
住吉（山口）	25	（12－0、13－3）	3	北浦（茨城）
仲西（沖縄）	25	（9－3、16－9）	12	城東（徳島）
大蔵（兵庫）	35	（13－3、22－4）	7	日野（長崎）
茅野東部（長野）	26	（12－12、14－13）	25	船津（福岡）
光陽（福井）	32	（18－14、14－3）	17	仙台高砂（宮城）
氷見北部（富山）	34	（17－8、17－10）	18	西和（和歌山）
吹上（栃木）	42	（23－0、19－5）	5	多賀（滋賀）
氷見十三（富山）	22	（10－4、12－8）	12	緑ヶ丘（奈良）
朝明（三重）	14	（9－4、5－9）	13	御幸（石川）
三郷北（埼玉）	30	（13－10、17－10）	20	培良（京都）
住吉第一（大阪）	21	（12－9、9－10）	19	中山（岐阜）
花園（千葉）	20	（10－4、10－6）	10	松橋（熊本）
東陽（大分）	46	（24－1、22－2）	3	城北（高知）
甘楽第一（群馬）	27	（14－6、13－10）	16	神埼（佐賀）

▼3回戦

大蔵	25	（11－6、14－9）	15	香川第一
三郷北	29	（15－7、14－8）	15	東陽
花園	17	（6－7、11－4）	11	朝明
光陽	23	（14－5、9－11）	16	住吉
氷見北部	18	（8－6、10－7）	13	東陵
甘楽第一	25	（16－4、9－7）	11	氷見十三
茅野東部	26	（13－13、13－12）	25	吹上
住吉第一	24	（11－8、13－8）	16	仲西

▼準々決勝

大蔵	20	（7－8、13－9）	17	花園
氷見北部	32	（18－9、14－11）	20	茅野東部
光陽	23	（9－11、14－6）	17	三郷北
甘楽第一	18	（9－12、9－5）	17	住吉第一

▼準決勝

大蔵	24	（9－7、15－13）	20	氷見北部
光陽	23	（14－4、9－15）	19	甘楽第一

▼決　勝

大蔵	28	（13－11、15－14）	25	光陽

▼順　位

優　勝　大　　蔵（兵庫県）
準優勝　光　　陽（福井県）

がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」4・5月入会・継続会員

【北海道】加藤　慶仁　【岩　手】畠山　正、高橋　元一　【茨　城】阿部　研一　【栃　木】石田　正彦　【群　馬】高橋　泉　【埼　玉】菊地　知男、佐藤　秀明　【千　葉】舎利弗 芳子、明里　慎治　【東　京】杉山　茂、出原　理、星野　光樹、中澤　重夫、兼子　真、緑川　正博、末永　一也、塩川　安賢、梶間　珠美　【神奈川】中丸　英一、佐分　正典、萩原　裕太、久保　公雄、久保　靖子、松岡　正彦、近久　紀人、斉藤　航大、吉澤　和美　【富　山】金原　至、吉田　守　【石　川】酒谷　信彦　【愛　知】間瀬　和義、西川　勤也、清水　万貴、藤原　涼子、高井　久美、浅野　克彦、村木　啓作、川合　育椰　【岐　阜】森　勝博、森　三千世　【大　阪】小山　章、吉田　敏明、大井　隆史、草井　文子、大西　和雄、井口　昭　【兵　庫】狩野　幸介、西澤　倫雄、高祖　加奈子、川原崎　雅彦　【和歌山】山崎　彰、中西　広男、高川　英明、田中　秀和、中芝　稔之、能木　進、東　三恵子、田中　啓喜、田中　丈夫、寺西　清宣、羽場　章、志賀　義生、加藤　照男、吉田　泰典、栗原　大輔、高井　佳世、金谷　敏典、松下　泰次　【岡　山】木村　誠　【広　島】大橋　季彦、山下　明子　【山　口】野村　晃久　【福　岡】佐伯　紘一、浅野　衛、田中　守、下田　昭弘、松尾　勝也　【佐　賀】久保田　秀光

【7月の行事予定】

【大　会】

7月５日(土)～13日(日)（イタリア・ベネチア）
　第７回女子・第19回男子世界学生選手権
7月11日(金)～13日(日)（ヨルダン・アンマン）
　第３回男子ユースアジア選手権
7月11日(金)～20日(日)（スロヴァキア・ブラティスラバ）
　第２回女子ユース世界選手権
7月19日(土)～21日(月)（佐賀市）
　第28回全国クラブ選手権大会・西
7月21日(月)～8月3日(日)（マケドニア）
　第16回女子ジュニア世界選手権
7月22日(火)～23日(水)（熊本県・山鹿市）
　ジャパンカップ2008
7月25日(金)～27日(日)（広島県・広島市）
　第13回ヒロシマ国際大会
7月25日(金)～8月5日(火)（福島県・本宮市）
　第28回全国クラブ選手権大会・東
7月25日(金)～8月5日(火)（シリア・ダマスカス）
　第11回男子ジュニア アジア選手権
7月29日(火)～8月3日(日)（埼玉県・和光市ほか）
　第59回全日本高校選手権大会
7月30日(水)～8月3日(日)（沖縄県・那覇市）
　第49回全日本実業団選手権大会

【会　議】

7月12日(土)
　常務理事会（東京）

HAND BALL　CONTENTS　Jun. Jul.

（登録チームの購読料は登録料に含む）

asics

sound mind, sound body

JAPAN、名品の系譜。

機能だけではない、風格のようなものがなければならぬ。
先端のテクノロジーでさらにパワーアップした機能を備えて
新しくなったスカイハンドJAPANシリーズ。
グリップ力に優れた国産ラバー採用のJAPANラバーソールと、
しなやかで通気性のあるエクセーヌを使ったカラーアッパーに
ソール前足部のベンチレーションホール等々。
インドアを制するミドルカットとローカットが揃った。

足入れ感を高めてクラシカルな名品復刻モデル。

スカイハンド®JAPAN-MT
THH514 ¥16,800(本体¥16,000)
● カラー：5093 ネイビーブルー×シルバー
● サイズ：23.0〜29.0cm



名品スカイハンドSPのフォルムを受け継いだローカットモデル。

スカイハンド®JAPAN-S
THH515 ¥15,750(本体¥15,000)
● カラー：2300 レッド×パールホワイト
5093 ネイビーブルー×シルバー
● サイズ：23.0〜29.0cm



JAPAN
JOC オフィシャルパートナー

株式会社アシックス

表示価格は消費税込みのメーカー希望小売価格です。( )内は消費税抜きの本体価格です。http://www.asics.co.jp 商品についてのお問い合わせは「アシックスお客様相談室」までどうぞ。03-3624-1814、06-6385-1155



世界の空へ、笑顔を乗せて。

(財)日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第四九一号

昭和四十年六月七日第三種郵便物認可

平成二十年六月二十六日印刷

平成二十年七月一日発行

東京都渋谷区神南一―一―一

電話 代表〇三―三四八一―二三六一

〇〇一二〇―七―一〇二九三

編集兼発行人 川上憲太

定価 年間三三〇〇円